

marantz®

Model CM6200 取扱説明書

CD/MD Combination Deck

MDLP



お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、または最寄りの株式会社マランツコンシューマー マーケティング各営業所にお問い合わせください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 10cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



警告



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
この機器を押し入れ、専用ラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
テーブルクロスをかけた、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。



分解禁止

- この機器の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



注意



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機の電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。



注意



電源プラグをコンセントから抜く

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。



指を挟まれないよう注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

結露現象について

本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房をいれた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

目次

準備	7
ご使用の前に	7
箱から出したら	7
接続方法	8
リモコンを使う前に	9
CD や MD を再生する	9
CD を再生する	9
CD-R、CD-RW を再生する	10
MD を再生する	10
MD に録音する	11
録音する前に	11
ダビングの制約について	12
録音メニューについて	12
録音のしかた	15
録音レベルを調節する	16
CD から MD にダビングする	17
CD のすべての曲を MD にダビングする (等速ダイレクト・ダビング)	17
2倍速ダイレクトダビング	18
2倍速レベルフィットダビング	18
ピックアップダビング	19
表示を切り換えるには	20
いろいろな再生のしかた (CD/MD)	20
サーチ (聞きたい部分を探す)	20
スキップ (曲番を指定する)	20
リピート再生 / チェーン再生 (繰り返し聞く)	21
A-B リピート (指定した区間を繰り返し聞く)	21
ランダム再生 (順不同に聞く)	21
プログラム再生 (好きな曲順に聞く)	22
MD のいろいろな録音のしかた	23
長時間録音する (LP2 / LP4 / MONO 録音)	23
時間をさかのぼって録音する (リカバリー録音)	23
録音する音質を選ぶ (ビットアロケーションモード)	23
フェードイン、フェードアウトで録音する	24
録音されている曲の途中から録音する	24
録音中に曲番をつける	24
自動的に録音を始める (自動録音機能・シンクロ録音)	25
オートマーク録音	25
録音した MD を編集する (曲の編集)	26
編集機能でできること	26
編集操作の流れ	26
1曲を2曲に分ける (デバイド)	27
連続した2曲を1曲にする (コンバイン)	27
曲を移動する (ムーブ)	28
曲を並べかえる (プログラムムーブ)	28
曲を消す (イレース / オールイレース)	29
最後の編集を取り消す (アンドゥ)	30

目次

録音した MD を編集する (文字の編集).....	30
ディスク名や曲名をつける前に	30
ディスク名をつける (ディスクネーム).....	31
曲名をつける (トラックネーム).....	31
数字ボタンで入力する (TEL キー入力).....	31
よく使う文字を登録する (ワードクリップ).....	32
入力した文字を修正する	32
便利な機能	33
タイマーを使って録音・再生する	33
CD-TEXT の情報を表示する	34
CD-TEXT の情報を MD に記録する	34
モニター機能	34
その他	34
サスペンドモード (デモモード、オートスタンバイ) の設定	34
サスペンドタイムの設定	34
ラストメモリー	35
初期設定にする	35
使用上のご注意	36
こんな表示がでたときは	37
MD のシステム上の制約	37
故障とお考えになる前に	38
保証・アフターサービスについて	38
ステレオ音のエチケット	38
仕様	39
各部の名称と使い方	40
本体前面	40
本体後面	41
ディスプレイ	42
リモコン送信部	43
リモコンの使用について	44
著作権について	45

準備（ご使用前に）

設置場所および設置上のご注意

セットを長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所。

風通しが悪く、湿気やホコリの多い場所。

振動や傾斜のある不安定な場所。

窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所。

アンプ等の発熱の多いものの上に置いて長時間使用しますと、CDやMDのピックアップ部分に使用しているレーザーダイオードが熱の影響を受けやすくなりますので、発熱の多いものの上に置いて使用することは避けてください。

その他、特に温度の高いところ。

ご使用いただく電源電圧・周波数

電源電圧は、交流 100V をご使用ください。

電源周波数は、50Hz または 60Hz をご使用ください。

接続上のご注意

接続する時は、各々の機器の保護のため、必ず電源を切ってから行ってください。

各端子の“IN”、“OUT”や“L”、“R”をよく確かめ、取扱説明書を参照して正しく接続してください。

ピンプラグは確実に差し込んでください。

不完全な接続は雑音発生の原因になります。

本機に接続されるオーディオ機器の取扱説明書もよくお読みの上、接続を行ってください。

電源コードの取扱い

濡れた手で触れないでください。

電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。

長時間ご使用にならないときは、必ずプラグを抜く習慣をつけましょう。

本機内部の修理

注油しますと故障の原因になりますので避けてください。

本機内部の点検や調整は、故障や感電事故の原因になります。本機内部に触れることは絶対にしないでください。

また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

（箱から出したら）

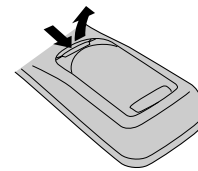
次の付属品が揃っているか確認して下さい

オーディオステレオ用 RCA ピンコード 2 本
リモコン送信機 (RC-6000CM) 1 台
単 3 乾電池 (SUM-3) 2 本
保証書 1 部
もし付属品が揃っていないときは、お買い上げ店、または各営業所にご連絡ください。

リモコンに電池を入れてください

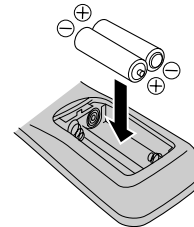
このリモコン送信機 (RC-6000CM) の電池寿命は、普通の使い方です。長い間リモコン送信機を使わないときは、電池を取り出しておいてください。また、弱ってきた電池は、早めに交換してください。

1) 裏蓋を外します。

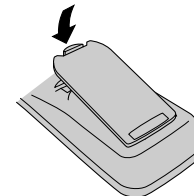


2) 電池を入れます。

電池の極性、プラス (+)、マイナス (-) を間違えないよう正しく入れてください。単 3 乾電池 (SUM-3) 2 本



3) 電池を正しく入れ、カチッと音がするまで裏蓋を閉めてください



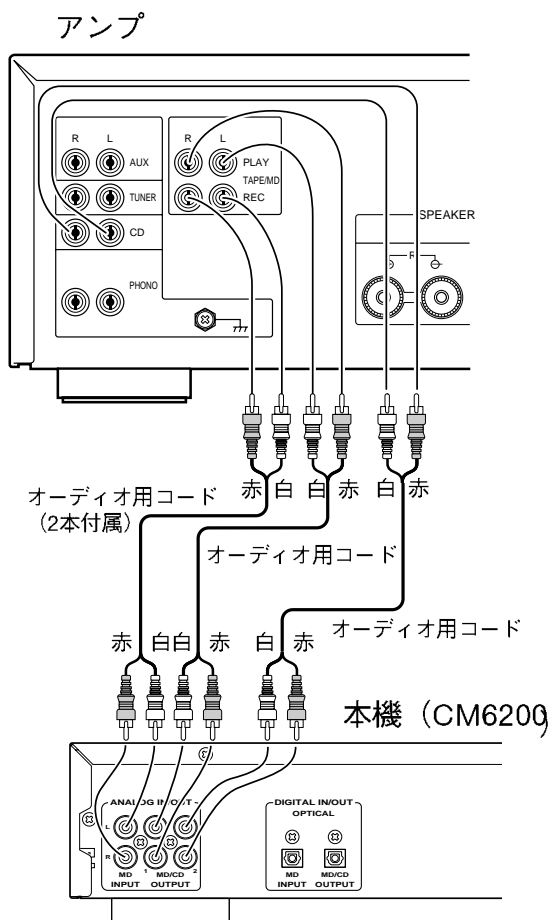
準備（接続方法）

ご注意：接続する時は各々の機器の保護のため、必ず電源を切ってから行ってください。

アナログ入出力端子の接続

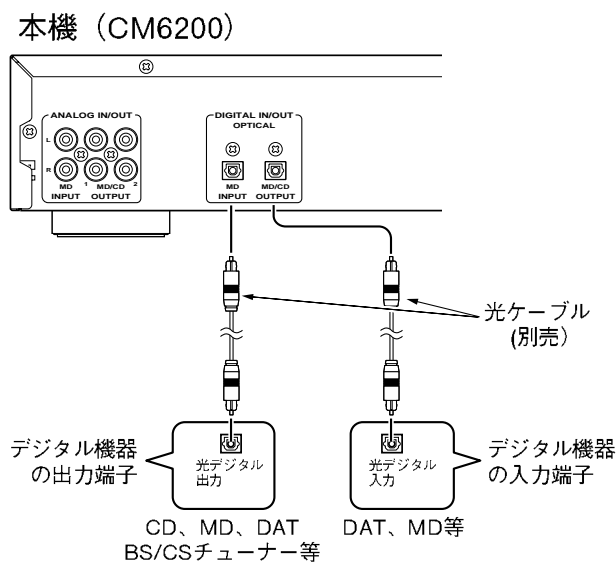
下の図のように本機とアンプを接続します。（お手持ちのアンプの取扱説明書も合わせてお読みください。）

- * 全ての接続が終わった時点で電源プラグをコンセントに接続して下さい。
- * 本機は後面のアナログラインアウト端子1、2よりCDまたはMDの音声を出力します。



デジタル入力出力端子を使用する場合

* アナログ入出力端子と併用できます。



リモコンを使う前に

付属リモコンのCDボタン、MDボタンは1度押した時と、2度つづけて押したときでは、動作に違いがあります。

CD、MDボタンを1度押した時

リモコン内部のファンクションが切りかわるだけでリモコンからコマンドは送信しません。

用途：

リモコンコードをMD用にするか、CD用にするか決める時に使います。

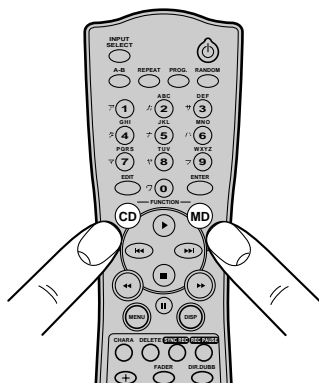
CD、MDボタンを2度つづけて押した時

CDまたはMDボタンを3秒以内に2度つづけて押した時は、リモコン内部のファンクションが切りかわり、リモコンからコマンドも送信します。

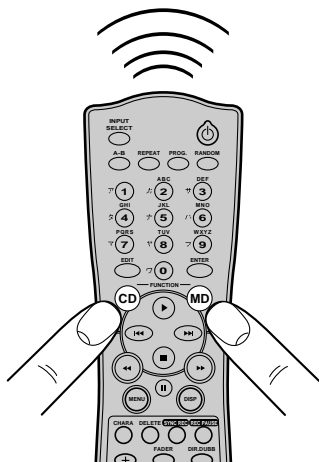
用途：

本体をMD側にするかCD側にするか決める時に使います。また、マランツ製のアンプと組み合わせて使用する場合、アンプのファンクションを切りかえる時に使います。

1度押した時：送信しません。



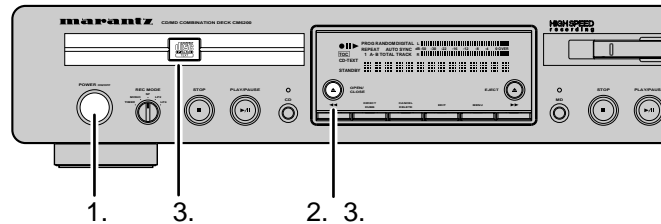
2度つづけて押した時：送信します。



CDやMDを再生する

CDを再生する

1. POWER ボタンを押して本体の電源を入れます。



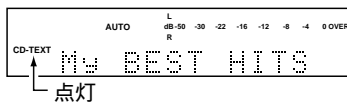
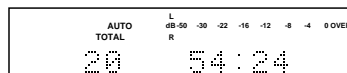
2. CDの▲ボタンを押してCDトレイを開きます。

レーベル面を上にしてCDをトレイに乗せます。

3. CDトレイの前面を軽く押すかCDの▲ボタンを押してCDトレイを閉じます。

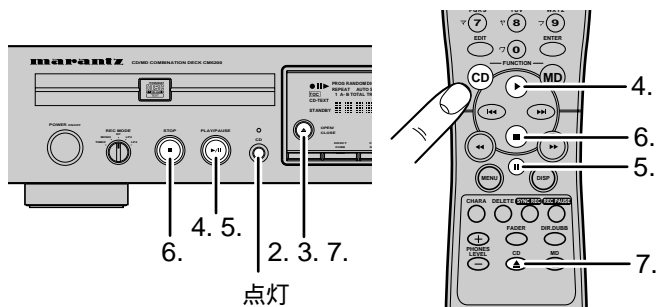
ディスプレイに"CD TOC READING"が点滅した後ディスクの総曲数と合計時間が表示されます。

CD-TEXT対応ディスクの場合はディスク名を表示します。



4. 本体の▶/||ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押します。再生を始め、ディスプレイに再生中の曲番とその曲の再生経過時間を表示します。

CD-TEXT対応ディスクの場合はトラック名を表示します。



注意

リモコンで再生中などの操作ができないときは、リモコンのモードがMDになっています。リモコンのCDボタンを押してから操作してください。

5. 再生を一時停止するには
再生中に本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの || ボタンを押します。
ボタンを押した所で一時停止します。
- * 再生を再開するには、本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの ▶ ボタン、|| ボタンを押します。
6. 再生を停止するには
本体のまたはリモコンの ボタンを押します。
7. ディスクを取り出すには
CDの ▲ ボタンを押してCDトレイを開き、ディスクを取り出します。
取り出したらCDの ▲ ボタンを押すか、CDトレイの前面を軽く押すかしてCDトレイを閉じておきます。
- * 本機を使用しないときはCDトレイを閉じておいてください。

CD-R、CD-RW を再生する

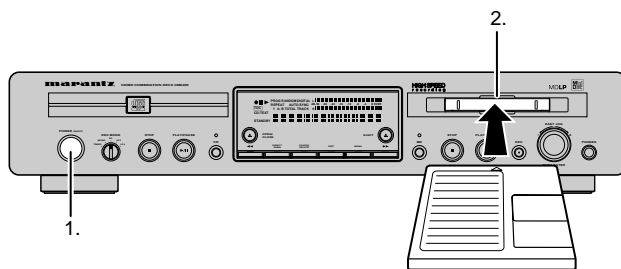
本機では従来の音楽CDやCD-R (Recordable) に加え、CD-RW (Rewritable) ディスクの再生も可能です。

CD-RやCD-RWの再生では必ずTOC*が正しく記録されていることが必要です。CDレコーダーではTOC情報を書き込むことをファイナライズ(Finalize)といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通のCDプレーヤーでは音楽CDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

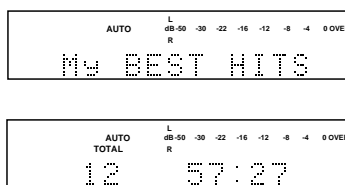
- * TOC (トック) とは Table Of Contents の略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報です。
再生できるのは音楽用のCD-DAフォーマットで記録されたディスクのみです。パソコン用のCD-ROMなどデータが記録されたディスクは再生しないでください。
CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、音楽CDやCD-Rに比べTOCの読み込みに若干時間がかかることがあります。

MDを再生する

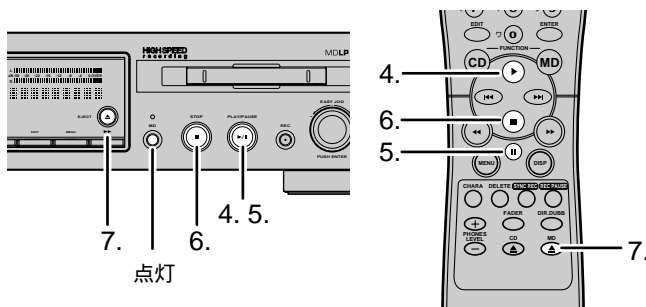
1. POWER ボタンを押して本体の電源を入れます。



2. MDのラベル面を上にして矢印の方向から確実に差し込みます。
3. ディスプレイに"MD TOC READING"が点灯しその後、ディスク名が表示されます。
ディスク名が記録されていないディスクはディスクの総曲数と合計時間が表示されます。



4. 本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。
再生を始めます。



注意

リモコンで再生などの操作ができないときは、リモコンのモードがCD側になっています。

リモコンのMDボタンを一度押してから操作してください。

5. 再生を一時停止するには
再生中に本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの || ボタンを押します。
再生はボタンを押した所で一時停止します。
- * 再生を再開するには、本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの ▶ ボタン、|| ボタンを押します。
6. 再生を停止するには
本体またはリモコンの ボタンを押します。
7. ディスクを取り出すには
MDの ▲ ボタンを押します。
ディスクがMDホルダーより出終わったら取り出してください。
- * 再生中にMDの ▲ ボタンを押して取り出すこともできます。

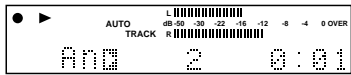
MDに録音する

録音する前に

< 曲番について >

MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番がつけられます。追加録音したときには、順に曲番がくり上がります。

アナログ(ライン)入力で録音するとき
アナログ(ライン)入力で録音するとき、曲間の無音部分を検出して曲番が自動的につきます。



↑ 1から2に変わる

アドバイス

ひと続きの曲として録音することもできます。

(25ページ参照)

デジタル入力で録音するとき

外部デジタル機器からデジタル入力で録音するときは、自動的に曲番がつけます。



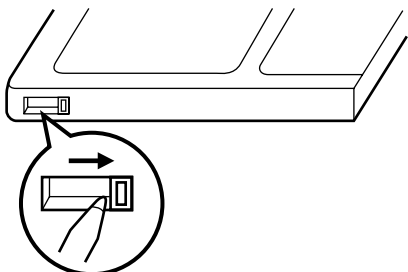
↑ 1から2に変わる

* 次のようなときには、曲番が一致しないことがあります。

- ・ 1曲リピートなどで、同じ曲を繰り返して録音するとき。
- ・ 1曲が4秒以下のとき。
- ・ 信号に雑音がある時など、録音する内容によっては、正しい位置に曲番がつかないこともあります。

録音したMDを誤って消さないために

- ・ MD側面に、誤消去防止ツマミがあります。このツマミを矢印の方向に動かしてください。誤消去防止状態になります。(穴を開ける)
- ・ 再び、録音や編集をするときは、誤消去防止ツマミを元に戻してください。(穴を閉じる)



録音中に電源が切れたら

録音中に本機の電源をOFFすることができる外部タイマーや停電などで電源が切れた場合、録音した内容は保存されていますが、切れた状態で約1週間放置したままにしておくと録音内容は消えてしまいます。

外部デジタル入力について

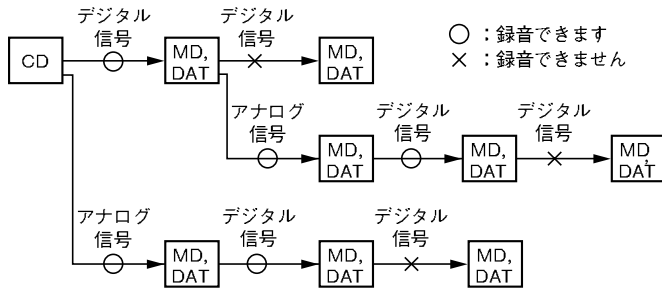
本機は、サンプリングレートコンバーターを搭載しています。そのためDATやCS/BSチューナーなどのサンプリングレート周波数が32kHz、48kHzのとき、本機は自動的に44.1kHzに変換して録音します。

ダビングの制約について

CDからMDへデジタル信号のままダビングするときは、著作権を保護する目的で以下の制約があります。

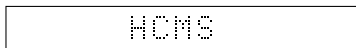
SCMS(シリアルコピー・マネージメント・システム)
本機は、SCMSに準拠しています。デジタル入力で録音されたDATまたはMDから、さらにデジタル入力で録音はできません。

SCMSに準拠している機器間では、デジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは最初の機器間だけです。但し、アナログ入出力端子を使用すれば録音することができます。



HCMS(ハイスピード・コピー・マネージメント・システム)
本機は、HCMSに準拠しています。CDからMDへ2倍速でデジタル録音する場合、録音開始から74分の間は、同じ曲を2回以上録音することができません。これはCDの曲ごとに記録されているISRC(International Standard Recording Code)を解読することによって、録音している曲が74分間に2回以上の録音であるかどうかを判定します。

74分以内に同じ曲が録音されていると判断した場合、以下のような表示が出て、自動的に通常速度に切りかえて録音を開始します。



一度2倍速デジタル録音から通常速度の録音に切りかわると、最後まで通常速度の録音になります。通常速度の録音のときHCMSは働きません。

- * 以下のような理由で2倍速デジタル録音が中止された場合、その曲はMDに記録されません。
- ・ 2倍速デジタル録音を曲の途中でやめた場合。
- ・ 曲の録音中にMDの残り時間が足りなくなった場合。

録音メニューについて

本機は各種設定をメニューで操作して選ぶことができます。

録音メニューで設定できる内容(13、14ページ参照)

デジタル/アナログ録音レベル	16ページ
CDダビングモード	17ページ
オートフェーダー	19ページ
フェードイン/フェードアウト時間	24ページ
オートマーカー	25ページ
ビットアロケーションモード	23ページ
オートLPスタンプ	23ページ
リカバリー録音	23ページ
タイマーモード	33ページ

アドバイス

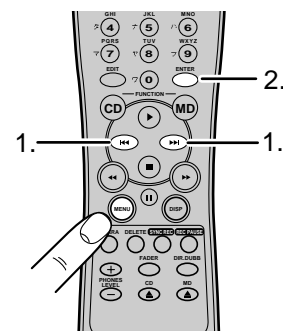
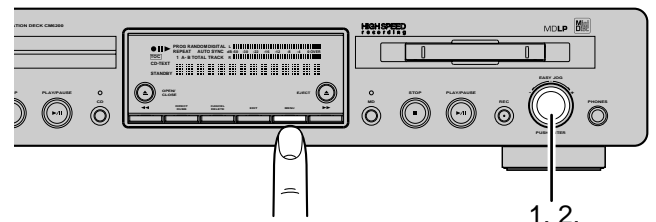
録音メニューで設定した内容は揮発メモリー(EEPROM)に記録していますので、電源を切っても保持し続けます。

メニューの操作方法

停止中、録音待機中、または録音中にMENUボタンを押すと、MENUモードに入ります

	操作するボタン	働き
1	EASY JOG ダイヤル ◀▶ ボタン(リモコン)	メニューの切り替え、 モードの変更
2	ENTER ボタン	表示の内容で決定する

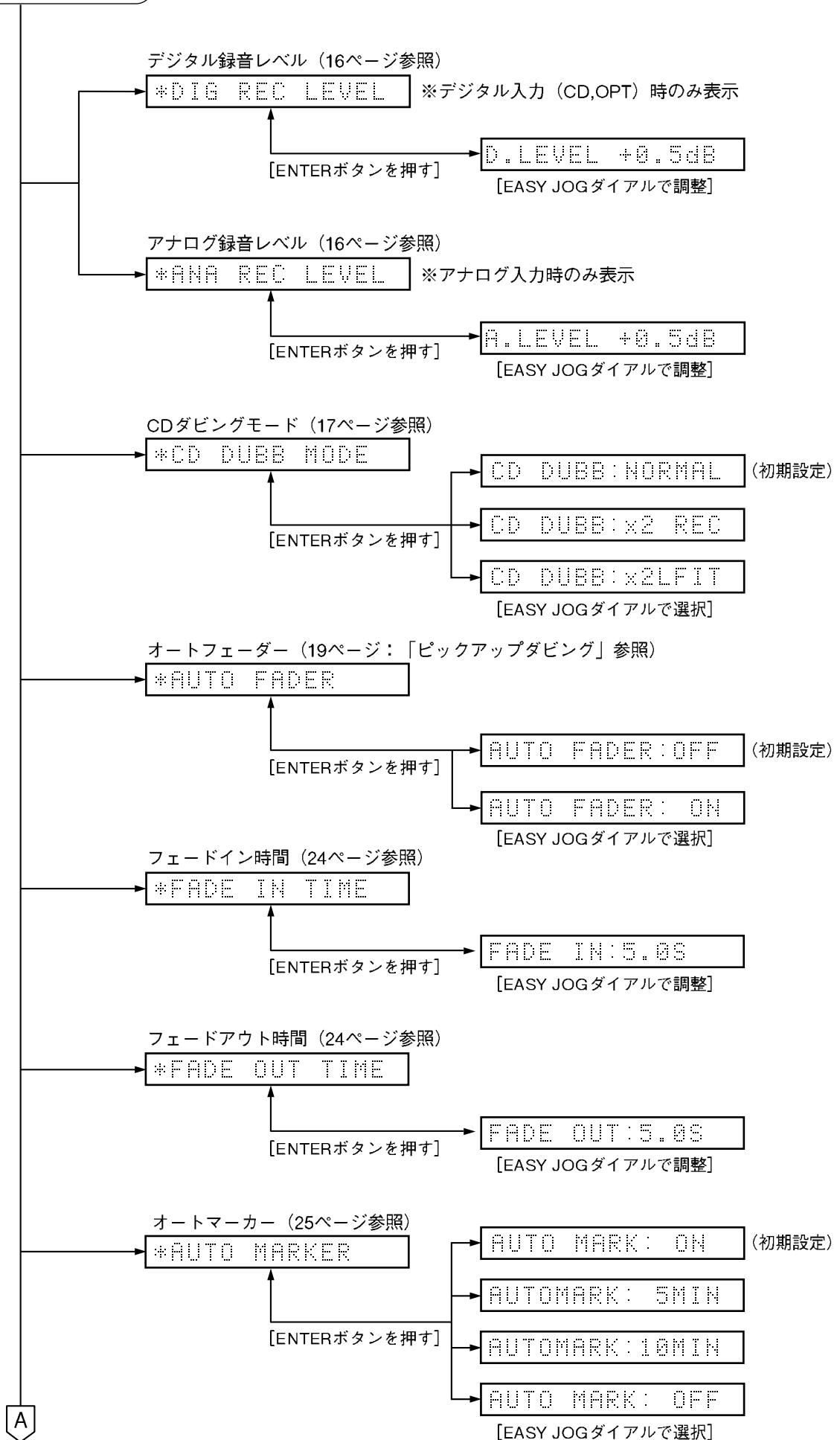
設定した後決定するときはメニューボタンを押します。



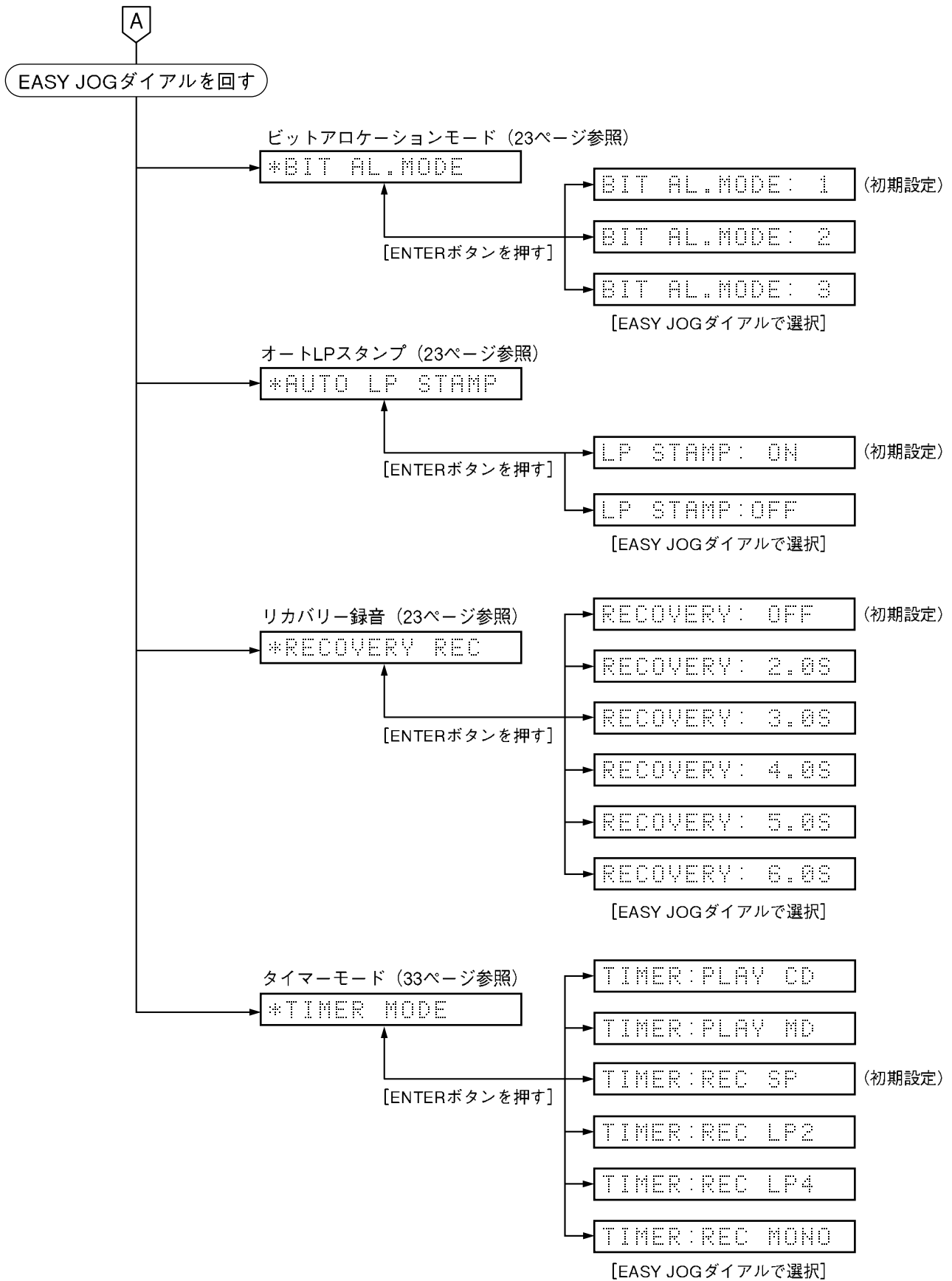
- * このページでEASY JOGと書いてある部分は、全てリモコンの◀▶ ボタンでも操作できます。
- * オートスタンバイ、デモモードの設定をするときは34ページをご覧ください。
- * 初期状態にするときは、35ページをご覧ください。

- 「録音メニュー」フローチャート -

EASY JOGダイヤルを回す

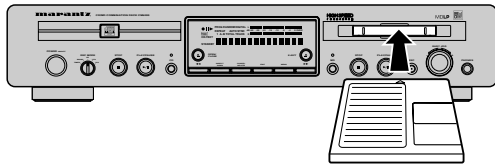


A

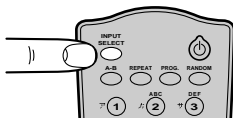


録音のしかた

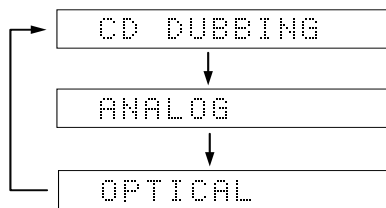
- 録音用MDのラベル面を上にして矢印の方向から確実に差し込みます。



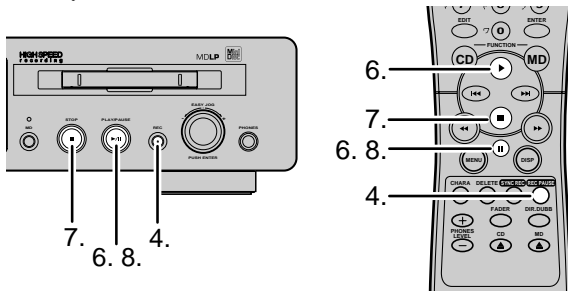
- ディスプレイ上に“ TOC READING ” が点灯した後、既に録音されているMDの場合はディスク名が付いていれば表示し、ディスク名が付いていなければディスクの総曲数と合計時間を表示します。
* 録音されていない新しいディスクの場合は、“ BLANK DISC ” と表示します。
- 入力を選びます
リモコンのINPUT SELECTを押して、MDに録音する入力を選びます。



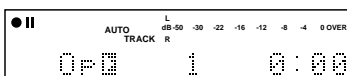
ボタンを押すたびに、表示が切りかわります。
約2秒間表示した後、元の表示に戻ります。



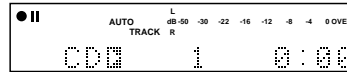
- * 内部CDからMDに録音する場合は、リモコンで“ CD DUBBING ”を選んだあと、CDを再生または再生の一時停止状態にしてください。
- ボタン(リモコンはMDボタンを押した後にREC PAUSEボタン)を押すと録音待機状態になります。



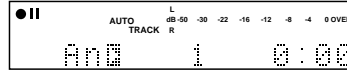
- * OPTICAL 入力の時：



- * 内部CD入力の時：



- * ANALOG 入力の時：

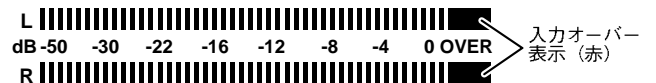


- * アナログ出力端子とデジタル出力端子には、INPUT SELECT ボタンで選んだ入力信号が出力され、録音する信号をモニターすることができます。
- * 途中まで録音しているMDのときは、録音済みの部分の後に続けて録音されます。

注意

デジタル入力端子に正しくデジタル信号が入力されていない場合は“DIN UNLOCK”と表示し、録音することができません。正しく接続されているか確認してください。

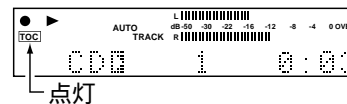
- アナログ(ライン)入力で録音する場合は、録音レベルを調整し、最も大きな信号レベルでもレベルインジケータの入力オーバー表示が点灯しないようにします。
* 録音レベルの調節のしかたは、アナログ録音レベルを調節する(16ページ参照)を参照してください。



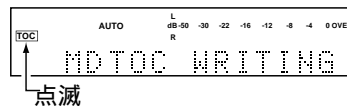
アドバイス

0dB ~ -12dBの間でバーメーターが振れるようにします。

- 録音を開始するには、本体の▶/|| ボタンまたは、リモコンの▶ ボタン、|| ボタンを押すと録音が始まります。



- 録音を停止するには、MD側のボタンを押します。“UP DATE”と表示した後に、“MD TOC WRITING”が点滅しTOCの情報を書き込みます。

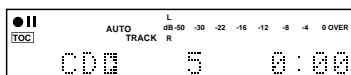


注意

TOCの記録中(“ TOC ”点滅中)に電源を切ったり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなります。

(TOC : Table of Contents : ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報)

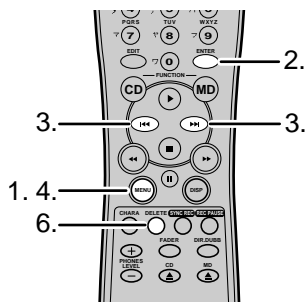
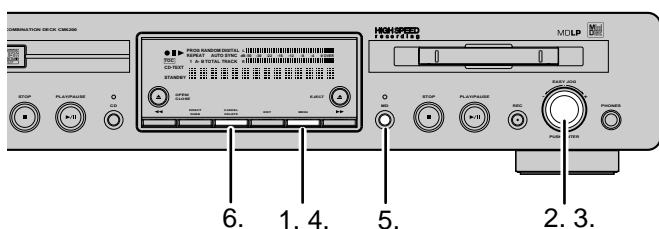
8. 録音を一時停止するには
録音中に本体の ▶/ ■ または、リモコンの ■ ボタンを押します。ボタンを押した所で、録音を一時停止し、録音待機状態になります。



↑ 4 から 5 に変わります

録音レベルを調節する

デジタル録音やアナログ録音で好みの録音レベルに調節してMDに録音することができます。



1. 録音待機中または録音中に MENU ボタンを押して “ DIG REC LEVEL ” または “ ANA REC LEVEL ” を表示させます。
(13 ページ 参照)

- デジタル入力 (CD、OPT) の時 :

*DIG REC LEVEL

- アナログ入力の時 :

*ANA REC LEVEL

2. ENTER ボタンを押します。
3. EASY JOG または ◀▶ ボタンでレベルを調節します。
調節できる範囲は、

- デジタル入力 (CD、OPT) の時 :
- 48dB から + 18dB までです。

D.LEVEL +0.5dB

- アナログ入力の時 :
- 48dB から + 18dB までです。

A.LEVEL +0.5dB

4. MENU ボタンを押すと設定内容が決定し、録音メニューは終了します。
5. 録音待機中または録音中に MD ボタンを押す 2 回と録音マージンモードになります。
この機能は入力レベルのピーク値が 0 dB まであと何 dB 余裕があるかを表示し、保持します。
- R.MARGIN 3.5dB
6. ピーク値は DELETE/CANCEL ボタン (リモコンは DELETE ボタン) を押すことで、リセットできます。

- * 録音レベルを調節するステップは以下のとおりです。
+ 18dB から - 12dB の間では、0.5dB ステップ
- 12dB から - 30dB の間では、1dB ステップ
- 30dB から - 48dB の間では、2dB ステップ

CDからMDにダビングする

CDのすべての曲をMDにダビングする(等速ダイレクト・ダビング)

1. 停止中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

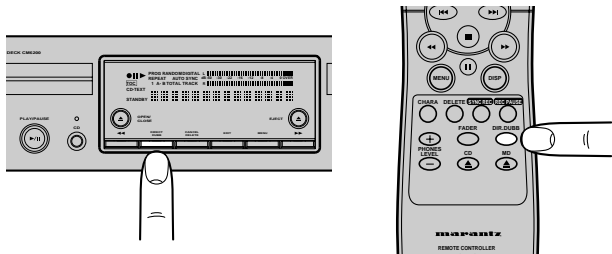
*CD DUBB MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して CD ダビングモードの設定を下のようにします。

CD DUBB : NORMAL

4. 設定した後 MENU ボタンを押して決定します。
5. ダビングする CD と MD のディスクをセットします。
6. 停止状態から DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押します。



7. CD DUBB : NORMAL (ダビングモード)

と

REC MODE : SP (設定されている録音モード)

を約 1.5 秒表示した後、CD のすべての曲がダビングできるとき、表示は

CD DUBB START?

となり、もう一度 DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押すとダビングが始まります。

- * メニューの操作は、録音メニュー (12 ページ) を参照してください。

アドバイス

CD-R や CD-RW で一度デジタル録音をしたディスクを MD にダイレクトダビングする場合、本機は自動的に内部でアナログ録音に切りかわり、ディスプレイの “DIGITAL” 表示が消えます。一度アナログ録音になると最後までアナログ録音になります。(SCMS : 12 ページ参照)

注意

アナログ録音に切りかわると、ヘッドホンレベルとラインアウトレベルは “MAX” (最大) に固定された出力レベルとなります。

CD のすべての曲がダビングできないとき
3 曲分あふれて 12 分 23 秒オーバーしていた場合

OVER 3 -12:23

と表示します。

ここで DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押すと、CD の最後の 3 曲を除いた曲のダビングが始まります。

アドバイス

CD のすべての曲がダビングできないとき、指定した曲をダビングから除くこともできます。

指定した曲をダビングから除く機能は、記録時間がオーバーした場合のみ有効です。

- CANCEL/DELETE ボタン (リモコンは DELETE ボタン) を押すと表示は、

?DEL 1 3:56

となり、CD の曲番と時間を表示します。

- EASY JOG または ◀▶ ボタンでキャンセルしたい曲番を選びます。

- ENTER ボタンを押すとその曲はダビング候補から外れ表示は、

OVER 2 -8:27

となります。

- この作業を繰り返し行ない、MD に収まる時間になったとき、表示は

CD DUBB START

となります。

- DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押すと、CD の指定した曲を除いてダビングが始まります。

- * ダビングを中止する場合は、 ボタンを押します。停止状態となります。

- * ダビング中は CD の一時停止、スキップ動作、早送り、早戻し動作や MD の録音待機は行なえません。

2倍速ダイレクトダビング

CDの全ての曲をMDに2倍速でダビングします。時間は等速ダビングのおよそ半分で済みます。

1. 停止中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

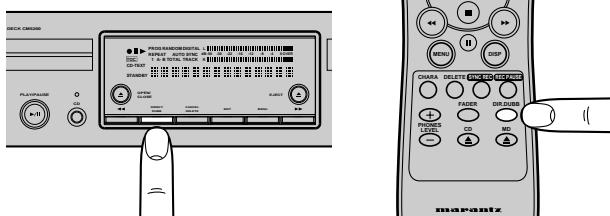
*CD DUBB MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して CD ダビングモードの設定を下のようにします。

CD DUBB: x2 REC

4. 設定した後 MENU ボタンを押して決定します。
5. ダビングする CD と MD のディスクをセットします。
6. 停止状態から DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押します。



7. CD DUBB: x2 REC (ダビングモード)

と

REC MODE: SP (設定されている録音モード)

を約 1.5 秒表示した後、CD のすべての曲がダビングできるとき、表示は

CD DUBB START?

となり、もう一度 DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押すとダビングが始まります。

- * メニューの操作は、録音メニュー (12 ページ) を参照してください。

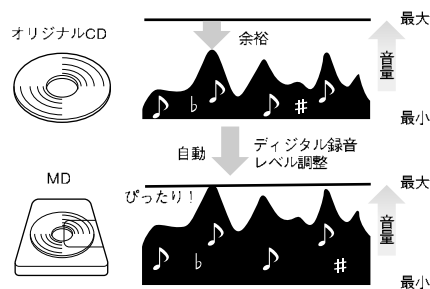
アドバイス

2倍速デジタル録音した曲を、74分以内にもう一度2倍速デジタル録音しようとした場合、「HCMS」という表示が出て、自動的に通常速度の録音に切りかわります。

一度2倍速デジタル録音から通常速度の録音に切りかわると、最後まで通常速度の録音になります。通常速度の録音のとき HCMS は働きません。(HCMS: 12 ページ参照)

2倍速レベルフィットダビング

信号レベルが低いCDを最適な録音レベルのためにデジタルボリュームを曲ごとに自動的に調節し、2倍速でダビングすることができます。



1. 停止中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

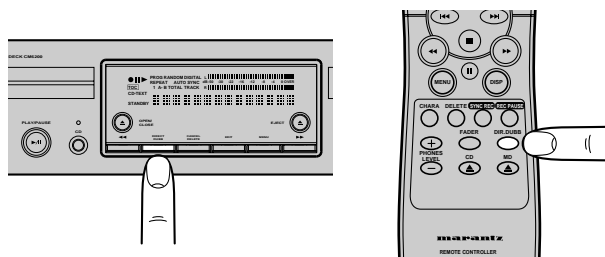
*CD DUBB MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して CD ダビングモードの設定を下のようにします。

CD DUBB: x2LFIT

4. 設定した後 MENU ボタンを押して決定します。
5. ダビングする CD と MD のディスクをセットします。
6. 停止状態から DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押します。



7. CD DUBB: x2LFIT (ダビングモード)

と

REC MODE: SP (設定されている録音モード)

を約 1.5 秒表示した後、CD のすべての曲がダビングできるとき、表示は

CD DUBB START?

となり、もう一度 DIRECT DUBB ボタン (リモコンは DIR.DUBB ボタン) を押すと CD を高速でスキャンしながらピーク信号を見つけます。録音レベルは曲ごとに設定されます。

LEVELFIT 1.5dB

録音レベルを自動的に設定した後、ダビングが始まります。CD のピーク信号を検出する時間は、74 分ディスクで最長約 4 分です。

- * 2倍速レベルフィットダビング中、ディスプレイにレベルメーターの“OVER”が表示することがあります。これはピーク信号の検出誤差によるためです。特に音質への影響はありません。

ピックアップダビング

CDを聞きながら、その曲だけ先頭からピックアップしてMDに録音することができます。

1. CDが再生中でMDが停止しているときにDIRECT DUBBボタン(リモコンはDIR.DUBBボタン)を押します。
2. CDの曲番を表示します。CDが4曲めの場合
CD DUBB 4?
3. もう一度DIRECT DUBBボタン(リモコンはDIR.DUBBボタン)を押すとCDは曲の先頭に戻り、MDの録音が始まります。
4. その曲が再生し終るとMDは停止しCDは次の曲を再生します。
5. 途中で解除するときは、CDまたはMDのボタンを押します。

アドバイス

あらかじめ録音メニュー(12ページ参照)でオートフェーダーをオンしておきますと、ピックアップする曲の頭と終わりを自動的にフェードイン、フェードアウトして録音することができます。

また、フェードイン、フェードアウトの時間は録音メニューで調整することが出来ます。調整方法は24ページを参照してください。

* 録音する曲が短い場合はフェードイン、フェードアウトの効果が完全でない場合があります。

注意

CD-TEXT対応のCDをダビングしたときは曲名がコピーできない場合があります。

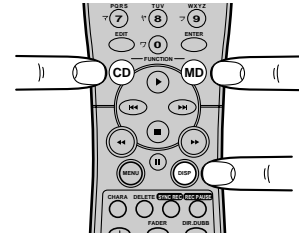
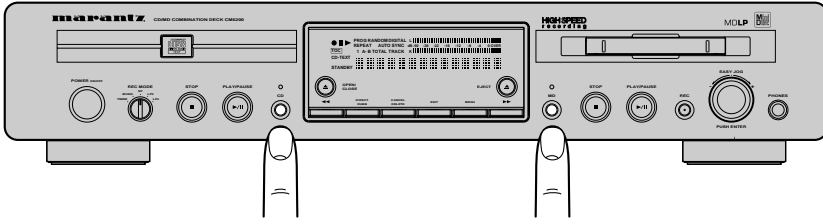
MDに録音残量が少なく、ダビングできないときは、表示が約2秒間

OVER 1 -4:17

となり、CDは再生を続けます。

表示を切りかえるには

CD、MDの表示を切りかえるときは、本体のCD、MDボタンまたはリモコンのDISPボタンを押す度に表示が切りかわります。



表示	状態	CD 停止	MD 停止	CD 再生中	MD 再生中	CD 再生一時停止	MD 再生一時停止	MD 録音待機	MD 録音中
ディスク名		①							
合計時間									
曲名		(①)	()	①		①			
経過時間									
録音残量時間									
トラックの残り時間		()	()						
トータルの残り時間									
録音マージン									

: 表示しません。

①: C D TEXT 対応ディスクは表示します。

() 内は停止中に本体の EASY JOG、またはリモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを操作すると表示されます。

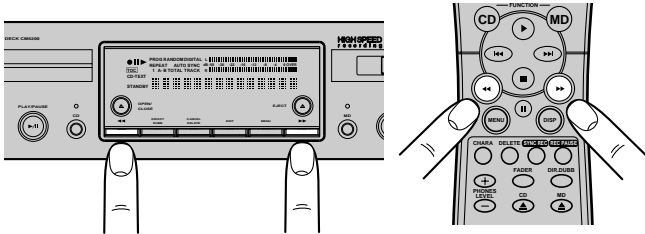
アドバイス

- * 曲名が長く、一度に全ての文字が表示されない場合、本体の CD、MD ボタンまたは、リモコンの DISPLAY ボタンを押し続けると、表示が横に流れて、残りの曲名を見ることができます。(最大 60 文字)
- * 曲の経過時間のときは、再生を停止すると再生の合計時間表示にもどります。
- * MD が録音待機中または録音中のときに CD ボタンを押すと表示は CD の表示になりますが、MD の動作は保持されます。

いろいろな再生のしかた (CD/MD)

サーチ (聞きたい部分を探す)

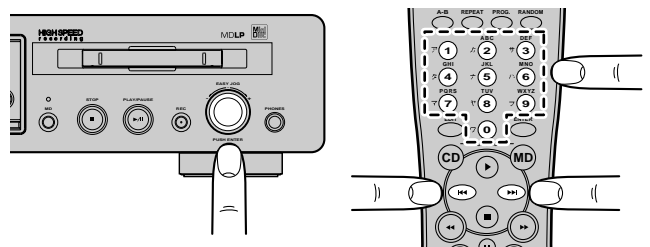
CD や MD の再生中、または一時停止中の所から聞きたい場所を探すには、◀◀ ボタン、▶▶ ボタンを押します。



- * 再生中にサーチすると、ボタンから指を離れた場所から通常の再生が始まります。
- * 一時停止中にサーチすると、ボタンから指を離れたところで一時停止状態になります。
- * 再生中にサーチすると、ゆっくりとサーチし、押し続けると高速でサーチします。曲名表示中にサーチすると経過時間表示に切りかわります。

スキップ (曲番を指定する)

本体の EASY JOG、またはリモコンの ◀◀、▶▶ ボタン、数字ボタン (0 から 9) で曲番を指定することができます。



EASY JOG で操作する場合

- 右回りに回転させると、次の曲に進みます。
 - 左回りに回転させると、前の曲に戻ります。
- 再生中は最初のクリックで現在の曲を再生し直します。

リモコンの数字ボタン (0 ~ 9) で曲番を指定する場合

- 3 曲目を指定する場合 3 を押す。
- 12 曲目を指定する場合 1 を押し、約 1.5 秒以内に 2 を押します。
- * ディスクに無い曲番を指定すると、ディスプレイに "ERROR" と表示されます。正しい曲番を指定し直してください。

リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンで曲番を指定する場合。

- ▶▶ ボタンを 1 回押すと次の曲に進みます。
 - ◀◀ ボタンを 1 回押すと前の曲に戻ります。
- 再生中は最初の 1 回目で、現在の曲を再生します。

アドバイス

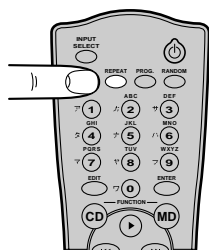
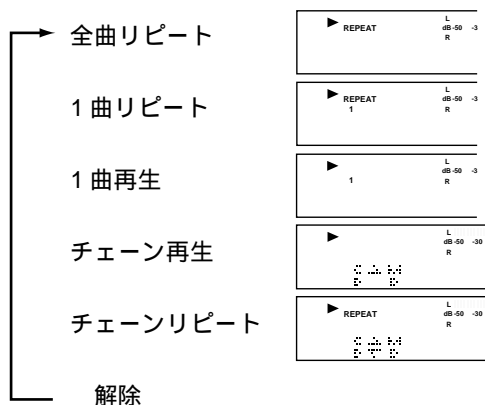
- 一時停止中に目的の曲番を指定すると、指定した曲番の初めで一時停止状態になります。
- 停止中の場合は、目的の曲番を指定してから ▶/|| ボタンまたは、リモコンの ▶ ボタンを押すと目的の曲番より再生を始めます。

リピート再生 / チェーン再生 (繰り返し聞く)

再生を繰り返したり、CD、MD 間での連続再生ができます。

- 全曲リピート： 全曲を繰り返し再生します。
- 1 曲リピート： 1 曲を繰り返し再生します。
- 1 曲再生： その曲の再生が終わると、一時停止します。
- チェーン再生： CD から MD へ、MD から CD へ連続再生ができます。
- チェーンリピート： CD から MD へ、MD から CD へ連続再生を繰り返します。

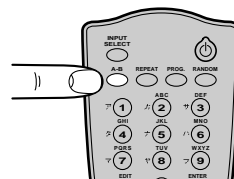
1. CD、MD を本機にセットします。
2. 停止中、再生中、一時停止中にリモコンの REPEAT ボタンを押します。押すたびに以下のようにモードが変わります。



A - B リピート

(指定した区間を繰り返し聞く)

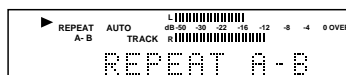
指定した区間を繰り返し再生できます。



1. 再生中にリモコンの A-B ボタンを押して、始める点 (A 点) を決めます。



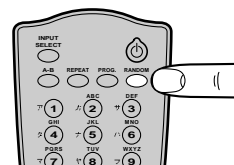
2. 終わりの点 (B 点) を決めるために、もう一度 A-B ボタンを押します。



3. A 点から B 点までを繰り返し再生します。
4. ボタンまたは、A-B ボタンを押すと解除します。

ランダム再生 (順不同に聞く)

1. 停止中、再生中および一時停止中に、リモコンの RANDOM ボタンを押します。



2. 全曲順不同で再生します。
 - * 全曲再生すると停止状態になります。
3. ランダム再生中に ボタンを押すと停止し、ランダム再生を解除します。

アドバイス

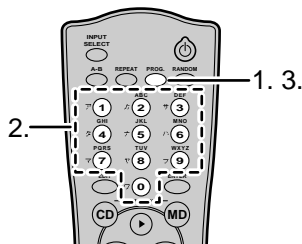
- * EASY JOG を右回りに回転させるか、またはリモコンの ▶▶ ボタンを押すと、残っている曲のどれかを再生します。
- * ランダム再生中にリモコンの REPEAT ボタンを押し、全曲リピート動作を選択すると、全曲ランダム再生した後、再度新しい順番でランダム再生を繰り返します。

プログラム再生(好きな曲順に聞く)

聞きたい曲を合計30曲まで好きな順番でプログラムすることができます。

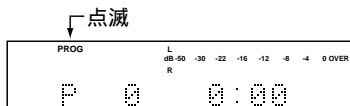
CDとMDを組合わせてプログラムをすることはできません。

1. CDまたはMD停止時にリモコンのPROG.ボタンを押します。

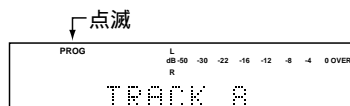


2. 希望する曲番をリモコンの数字ボタン(0から9)で入力するとその曲がプログラムされます。(2桁または3桁の曲番を選択する場合は、それぞれ約1.5秒以内に続けて押してください。)

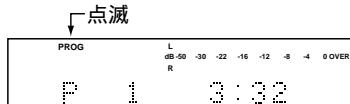
- プログラム入力待ちの表示



- 8曲目を選択した表示



- 1曲プログラムした表示



- * 曲番を入力するたびに、入力した曲番を表示した後、プログラムした曲数とプログラムの総再生時間が表示されます。
 - * リモコンでの入力操作ができない時には、操作する側のCDボタンかMDボタンを押してから操作して下さい。
3. プログラムを入力後、もう一度リモコンのPROGボタンを押すとプログラムを確定し、停止状態になります。
 4. プログラムの再生
プログラムを確定した後、本体の▶/■ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押します。プログラムの再生を開始します。
 - * プログラムの確認
プログラムを再生中または、一時停止中にリモコンのPROGボタンを押します。プログラムした順序で曲番を表示します。
 - * プログラムの解除
本体の▲ボタンまたは、リモコンの▲ボタンを押すと、プログラムを解除します。また停止中に▶ボタンを押してもプログラムを解除することができます。

アドバイス

- プログラムを確定した後も、もう一度リモコンのPROGボタンを押すとプログラムを追加して入力することができます。

プログラムから指定した曲番を消去するには

1. プログラム確定後、停止中にリモコンのPROGボタンを押します。
2. ▶▶ボタンまたは、◀◀ボタンを押してプログラムした曲を表示します。消したい曲を表示しているときに本体かリモコンのDELETEボタンを押します。
3. リモコンのPROGボタンを押すと確定します。

アドバイス

- CDのプログラムを確定した後でDIRECT DUBBボタン(リモコンはDIR. DUBBボタン)を押すとプログラムした順序でダビングすることができます。

MDのいろいろな録音のしかた

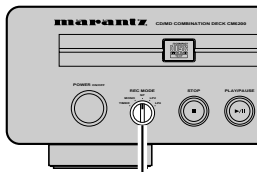
長時間録音する (LP2/LP4/MONO 録音)

ステレオでの録音時間を約2倍(LP2)または約4倍(LP4)にすることができます。

またモノラルで約2倍の録音時間にすることもできます。

1. 本体の録音モード/タイマースイッチを切り換えます。

- SP : ステレオ録音
- LP2 : 録音時間が約2倍になります
- LP4 : 録音時間が約4倍になります
- MONO : モノラル録音です。録音時間は約2倍になります。



1.

2. 設定した後録音を開始します。(15ページ参照)

- * タイマーで長時間録音する場合は(タイマー録音する:33ページ)を参照して下さい。

オートLPスタンプ機能

LP2またはLP4で録音すると自動的に以下のようなトラックネームが付きます。

LP2で録音された場合

LP2:

LP4で録音された場合

LP4:

再生したときに長時間モード(MDLP)で録音されたことが一目で分かるように設定された機能です。

また他の長時間モードに対応していないプレーヤを使用した場合、音を再生することは出来ませんがトラックネームを表示することにより長時間モードで録音されていることを確認することができます。

これは通常のトラックネームと同じですので編集して修正したり消したりすることも出来ます。(入力した文字を修正する:32ページ参照)

時間をさかのぼって録音する (リカバリー録音)

設定した時間だけさかのぼって録音する機能です。チューナー等からの録音で頭切れを防止するのに便利な機能です。

この機能はアナログライン入力と光デジタル入力にのみ有効な機能です。

1. 停止中または録音待機中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

*RECOVERY REC

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押してリカバリー録音の設定を下のいずれかにします。設定できる範囲はオフと2秒から6秒までです。

RECOVERY: OFF : 通常の録音状態です。

RECOVERY: 2.0S : 2秒前から録音します。

- * リカバリー時間は2.0秒から最大6秒まで選べます。(設定時間は1秒間隔です。)
- 4. 設定した後、MENU ボタンを押して決定します。決定後、録音を開始します。(15ページ参照)
- * メニューの操作は、録音メニュー(12ページ)を参照してください。
- * 録音した後、曲の頭に余分な部分がありましたら、編集機能を使って編集して下さい。(26ページ参照)

録音する音質を選ぶ

(ビットアロケーションモード)

MDの信号圧縮方式であるATRACのビット配分を変更することにより音質を変更することが出来ます。

1. 停止中または録音待機中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

*BIT AL. MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押してビットアロケーションモードの設定を下のいずれかにします。

BIT AL. MODE: 1

標準的な音質で、バランスよくビット配分されています。

BIT AL. MODE: 2

ピーク信号を強調し、メリハリのある音楽に適したビット配分の設定です。

BIT AL. MODE: 3

中音域を強調し、ボーカル中心の音楽に適したビット配分の設定です。

4. 設定した後、MENU ボタンを押して決定します。決定後、録音を開始します。(15ページ参照)

- * メニューの操作は、録音メニュー(12ページ)を参照してください。

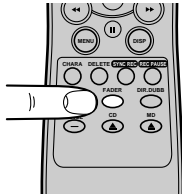
- * ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) : 高能率符号化

アドバイス

- ビットアロケーションモードを変更してダビングする場合、ダビングモードを通常速度(NORMAL)にした方が、よりビットアロケーションモードによる音質の違いがわかります。

フェードイン、フェードアウト で録音する

録音レベルを徐々に大きくして録音を始めたり、(フェードイン)録音中に徐々に録音レベルを小さくして録音が終わる(フェードアウト)ことができます。曲の途中や放送を録音するのに便利です。録音メニュー(12ページ参照)でそれぞれの時間を調整できます。



フェードイン

録音待機中(15ページ参照)にリモコンのFADERボタンを押します。録音が始まり、およそ設定した時間で録音レベルが上がります。

フェードアウト

録音中(15ページ参照)にリモコンのFADERボタンを押します。録音は、およそ設定した時間でフェードアウトし録音待機状態になります。

- * 内部CDからMDに録音する場合は、あらかじめ録音する入力を選んだあと、CDを再生、または再生の一時停止状態にしてから録音ポーズボタンを押してください。

フェードイン、フェードアウト時間の調整

1. 停止中または録音待機中にMENUボタンを押します。
2. メニュー表示の中からEASY JOGまたはリモコンの◀◀、▶▶ボタンを押して

*FADE IN TIME

または

*FADE OUT TIME

を選んでENTERボタンを押します。

3. EASY JOGまたはリモコンの◀◀、▶▶ボタンを押してフェードイン時間またはフェードアウト時間を設定します。設定できる範囲は2.0秒から20.0秒までです。

FADE IN: 5.0S

または

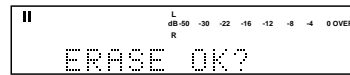
FADE OUT: 5.0S

4. 設定した後、MENUボタンを押して決定します。決定後、録音を開始します。(15ページ参照)
- * メニューの操作は、録音メニュー(12ページ)を参照してください。
 - * 録音する曲が短い場合はフェードイン、フェードアウトの効果が完全でない場合があります。

録音されている曲の途中から 録音する

すでに録音されている曲の途中から、上書き録音することができます。

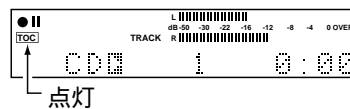
1. MDの再生中に録音を上書きしたいところで、本体の▶/||ボタンまたはリモコンの||ボタンを押します。
2. RECボタン(リモコンはREC PAUSEボタン)を押すと



と表示されます。

3. 本体のEASY JOG/ENTERボタンまたはリモコンのENTERボタンを押すと録音待機状態になります。

- 内部CD入力の例



- * 内部CDの録音をさせたい場合は、ここでCD再生の操作をしてください。

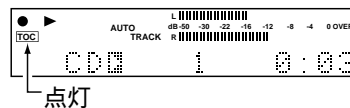
リモコンでCDの操作をする場合は、必ずCDボタンを押してから行ってください。

このとき、MDに録音する入力は、自動的に内部CDに切り換わります。

- * CDの好きな位置からタイミング良く録音開始するには、ここでCDを一時停止の状態にしておきます。

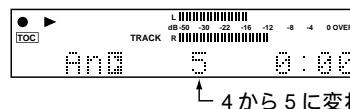
4. 本体MD側の▶/||ボタンまたはリモコンの▶ボタン、||ボタンを押すとMDの録音を開始します。

- * CDが一時停止になっていた場合は、同時にCDの再生がスタートします。



録音中に曲番をつける

録音中にRECボタン(リモコンはREC PAUSEボタン)を押すと曲番が1つ増えます。



- * CDをダビングしているときは、任意の場所に曲番をつけることはできません。

アドバイス

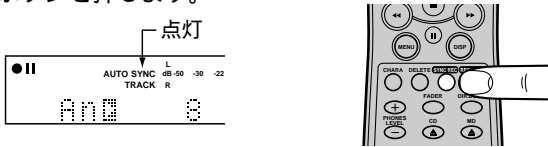
曲番は、MDの編集機能を使えば後からでも曲番を変更したり、曲の区切りを変えることができます。(26ページを参照)

自動的に録音を始める

(自動録音機能・シンク口録音)

曲の始まりを検出して、始まりと同時に録音を開始することができます。

1. 録音待機中(15ページ参照)に、リモコンの SYNC REC ボタンを押します。



2. 次に録音したい曲を再生します。(外部機器を再生します。)
3. 自動的に録音を開始します。

アナログ入力の場合は、微小信号やノイズ等で正しく動作しない場合があります。このようなときは、手動で録音してください。

なお、SYNC 表示が点灯しているとき(録音状態や録音待機状態)は、入力の切りかえはできません。

4. ボタンを押すことで解除ができます。

- * 自動録音状態(“ SYNC ”表示点灯)にすると、曲間(無音部分)が長い場合は自動的に曲間を約6秒に整理します。
- * アナログ入力の場合は、微小信号やノイズ等で正しく動作しない場合があります。
- * 自動録音状態から || ボタンを押して、録音待機状態にしたときは、SYNC 表示は消え解除されます。

オートマーク録音

オートマーカーを使って自動的にトラックを区切ることができます。ラジオ番組や会議などの長時間録音のサーチが便利になります。

また、オートマーカーをオフにすることにより、チューナー等からの録音を一続きの曲として録音することができ後から曲の編集をする場合に便利です。

1. 停止中または録音待機中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶, ▶▶ ボタンを押して

*AUTO MARKER

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶, ▶▶ ボタンを押してオートマーカーの設定を下のいずれかにします。

AUTOMARK: ON

自動的に曲間(無音部分)を検知して曲番を更新します。

- * アナログ入力の場合は、微小信号やノイズ等で正しく動作しない場合があります。

AUTOMARK: 5MIN

5分ごとにトラックを区切り、曲番を更新しながら録音します。また曲間(無音部分)がある場合も、曲番を更新します。

AUTOMARK: 10MIN

10分ごとにトラックを区切り、曲番を更新しながら録音します。また曲間(無音部分)がある場合も、曲番を更新します。

AUTOMARK: OFF

一続きの曲として録音します。曲間がある場合でも曲番は変わりません。

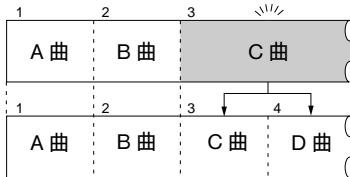
4. 設定した後、MENU ボタンを押して決定します。決定後、録音を開始します。(15ページ参照)
- * メニューの操作は、録音メニュー(12ページ)を参照してください。
 - * MDに録音する入力が内部CDになっている場合、または外部からのデジタル入力がCDかMDのときはこの設定に関係なくオートマーカーがオンの動作になります。

録音したMDを編集する(曲の編集)

編集機能でできること

1 曲を 2 曲に分ける (デバイド機能)

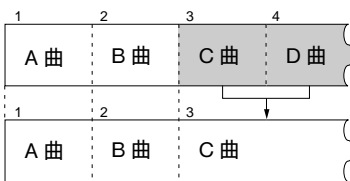
1 つの曲を、希望の位置で 2 つに分けます。(27 ページ参照)



* 分けた曲以降の曲番は 1 つくり上がります。

連続した 2 曲を 1 曲にする (コンバイン機能)

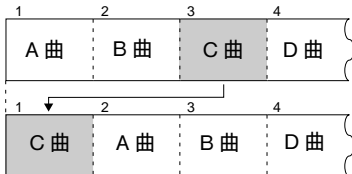
連続した 2 つの曲を、1 つの曲にします。(27 ページ参照)



* まとめた曲以降の曲番は 1 つくり下がります。

曲を移動する (ムーブ機能)

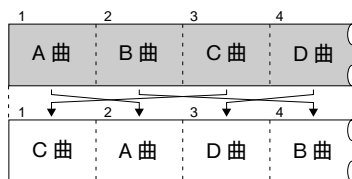
指定した曲を、希望する場所に移動します。(28 ページ参照)



* 並べかえ後の曲番は自動的に調整されます。

曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)

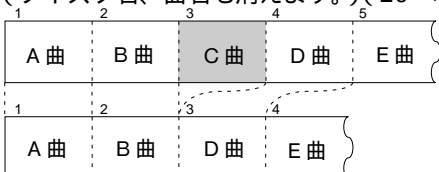
プログラム選曲再生で指定した順番に、曲順を並べかえます。(28 ページ参照)



- * 並べかえた後の曲番は自動的に調整されます。
- * プログラムした曲以外の曲番も自動的に後ろに並びかわります。

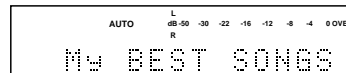
曲を消す (イレース機能 / オールイレース機能)

指定した 1 曲、またはディスク内の全ての曲を消します。(ディスク名、曲名も消えます。)(29 ページ参照)



* 消した曲以降の曲番は 1 つくり下がります。

ディスクや曲に名前を付ける (ネーム機能)
ディスク全体の名前、曲ごとの名前が付けられます。
再生中や頭出し時に表示されるため、曲の確認が素早くできます。(30 ページ参照)



* アルファベット (大文字 / 小文字)、数字、記号、カタカナが使用できます。

編集操作の流れ

編集の各機能は、編集メニューで選びます。編集メニューで選べる機能は、編集操作をはじめる時の状態によって変わります。下の表 1 を参照してください。

1. 編集メニュー表示
EDIT ボタンを押すと、編集メニューが表示されます。
2. 編集メニュー選択
EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して、編集メニューを選択します。
3. 編集開始
ENTER ボタンを押すと、選んだメニューの編集が行なえます。
- * 途中でやめるときは、STOP ボタンを押します。
4. 編集する
27 ページ以降の操作方法で編集作業をします。(27 ページから 32 ページ参照)
5. ディスクに書き込む
編集した内容をディスクに記録するには、▲ ボタンまたはリモコンの ◻ ボタンを押して MD TOC WRITING 状態にする必要があります。(TOC 情報をディスクに書き込む)

注意

TOC 情報を書き込む前に本体の電源ボタンで電源を切ると、それまで編集した内容が消えてしまいます。

下記の表に示す状態で各編集メニューが選べます
表 1

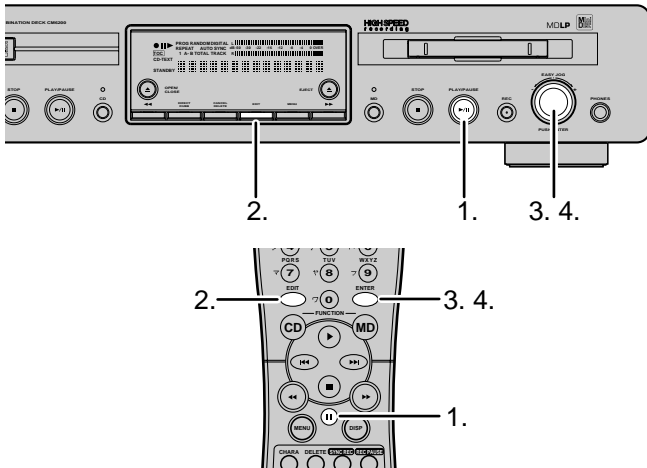
本機の状態	停止 (総曲数表示)	停止 (曲番選択)	停止 (プログラム 確定時)	再生中	再生の 一時停止	録音中
編集メニュー						
ディスクネーム		×	×	×	×	×
トラックネーム	×		×			
ワードクリップ		×	×	×	×	×
デバイド	×	×	×	×		×
コンバイン	×		×	×		×
トラックムーブ	×		×	×		×
プログラムムーブ	×	×		×	×	×
トラックイレース	×		×	×		×
A-B イレース	×	×	×	×		×
オールイレース		×	×	×	×	×
アンドゥ			×	×	×	×

: 編集できます

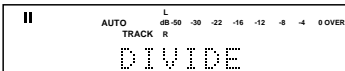
×: 編集できません

1 曲を 2 曲に分ける (デバイド)

1 つの曲を、好みの位置で 2 つの曲に分けることができます。



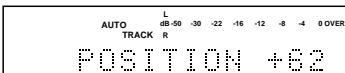
1. 分ける曲の再生中に本体の ▶ / || ボタンまたはリモコンの || ボタンを押します。
一時停止状態になります。
2. EDIT ボタンを押し、編集メニュー (26 ページ参照) の “DIVIDE” を選びます。



3. 本体の EASY JOG/ENTER またはリモコンの ENTER ボタンを押すと、“REHEASAL”(リハーサル)と表示し、分けられる部分の前後それぞれ約4秒づつ繰り返し再生します。分けられる部分にくると約0.5秒間一時停止し、分けたい部分の確認ができます。再生している間は、“REHEASAL”と“DIVIDE OK?”の表示を繰り返します。
 4. もう一度 ENTER ボタンを押すと確定し “COMPLETE” と表示します。
 5. 確定後は新しく分けてできた曲を再生します。また、分けてできた曲よりあとの曲番は1つ繰り上がります。
- * リハーサルを繰り返している間にストップボタン を押すとデバイドモードを解除することができます。

アドバイス

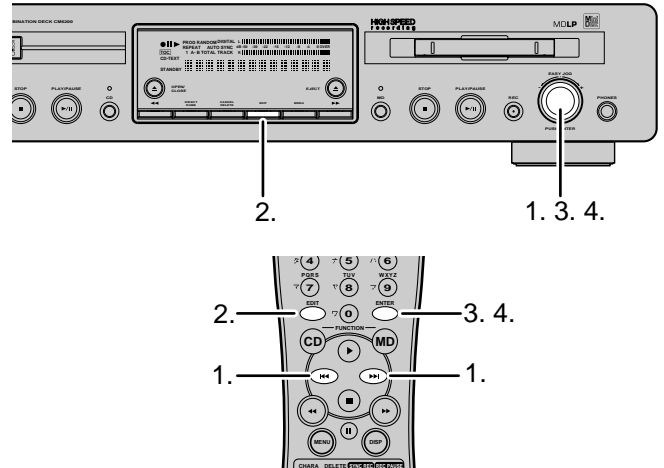
リハーサル中に EASY JOG または、リモコンの ◀◀, ▶▶ ボタンを押すと、分ける部分を可変することができます。(約0.02秒単位で前後約3秒まで可変できます。) ずらした部分の確認は、聞きながら、または表示を見ながらできます。



-127 から +127 まで可変します

連続した 2 曲を 1 曲にする (コンバイン)

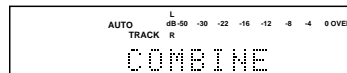
(コンバイン)



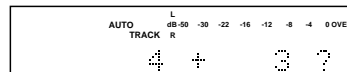
1. 停止中に本体の EASY JOG または、リモコンの ◀◀, ▶▶ ボタンを押してつなぐ後の曲番を指定します。3 曲目と 4 曲目をつなぐ場合は、4 曲目を指定します。

* 曲の再生中に本体の ▶ / || ボタンまたはリモコンの || ボタンを押し、再生の一時停止状態からでもつなぐことができます。

2. EDIT ボタンを押し、編集メニュー (26 ページ参照) の “COMBINE” を選びます。

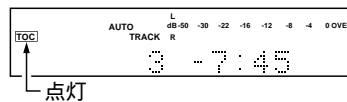


3. 本体の EASY JOG/ENTER ボタンまたはリモコンの ENTER ボタンを押します。確認メッセージが出てきます。3 曲目と 4 曲目をつなぐ場合



* 操作を取り消すときは、 ボタンを押します。

4. 更にもう一度 ENTER ボタンを押すと確定し、“COMPLETE” と表示します。



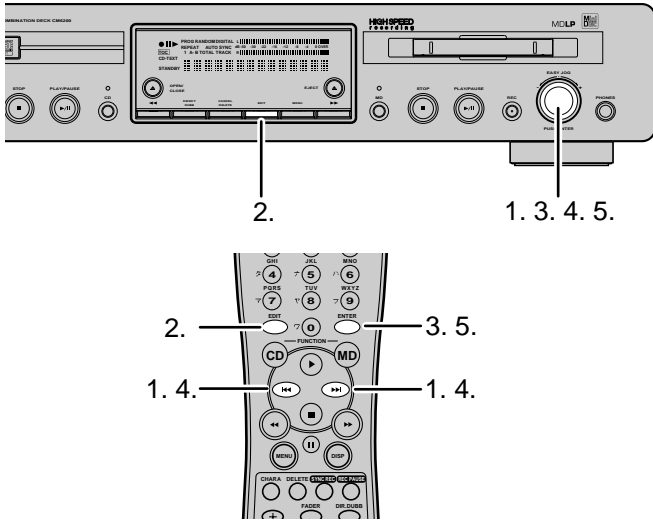
曲がつながります。つなげた曲以降の曲番は自動的に1つ繰り下がります。

注意

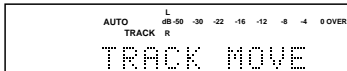
異なる録音モードで録音した曲と曲はつなぐことができません。例えば、SP (ステレオ) モードの曲と LP4 モードの曲をつなぐ操作をした場合、“Can't EDIT” が表示され曲と曲はつながりません。

曲を移動する (ムーブ)

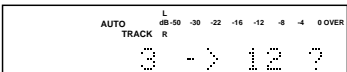
指定した曲を、希望する場所に移動します。



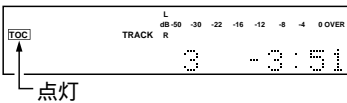
1. 停止中に本体の EASY JOG または、リモコンの ◀◀, ▶▶ ボタンを押して移動する曲番を指定します。
* 再生中に本体の ▶ / || ボタンまたはリモコンの || ボタンを押し、一時停止状態にしても移動できます。
2. EDIT ボタンを押し、編集メニュー (26 ページ参照) の “TRACK MOVE” を選びます。



3. 本体の EASY JOG/ENTER ボタンまたはリモコンの ENTER ボタンを押します。移動先入力状態になります。
4. 本体の EASY JOG または、リモコンの ◀◀, ▶▶ ボタンを使い、移動先を入力します。
3 曲目を 12 曲目に移動する場合



- * 操作を取り消すときは、 ボタンを押します。
5. 更にもう一度 ENTER ボタンを押すと確定し “COMPLETE” と表示します。

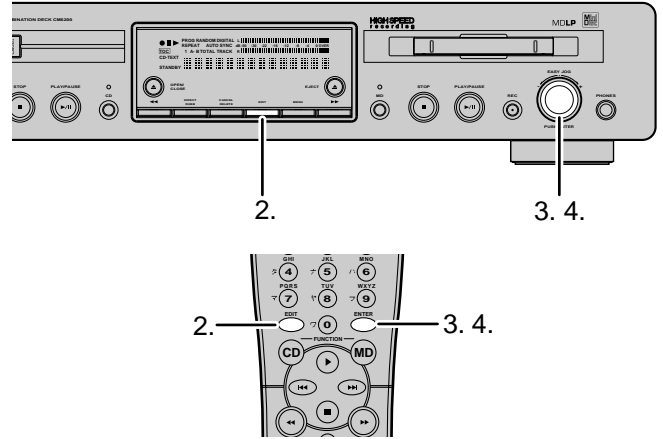


曲が移動し、曲番を整理し直します。
表示は最初に指定した曲の残り時間、または曲名を表示します。

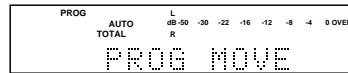
曲を並べかえる

(プログラムムーブ)

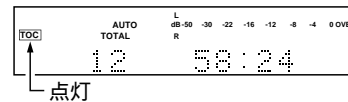
プログラム選曲再生で指定した順番に、曲順を並べかえることができます。プログラムした曲以外の曲はプログラムした曲の後ろに並べかえられます。同じ曲を2回以上プログラムしているときは、後にプログラムされた内容を優先します。



1. 並べかえたい曲をプログラムし、プログラム確定状態にします。(22 ページ参照)
2. EDIT ボタンを押すと “PROG MOVE” と表示されます。



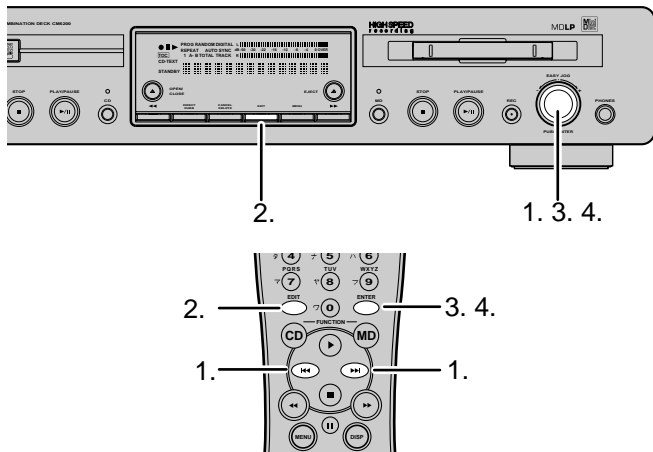
3. 本体の EASY JOG/ENTER ボタンまたはリモコンの ENTER ボタンを押します。確認メッセージが “PROG MOVE” と表示されます。
* 操作を取り消すときは、 ボタンを押します。
4. 更にもう一度 ENTER ボタンを押すと確定し、“COMPLETE” と表示します。



曲が並べかえられて、プログラムは解除されます。

曲を消す(イレース/オールイレース)

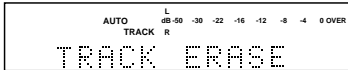
1曲だけ消す



1. 停止中に本体のEASY JOGまたは、リモコンの◀◀, ▶▶ボタンを押して消したい曲番を指定します。

* 一時停止状態からでもできます。

2. EDITボタン押し、編集メニュー(26ページ参照)の“ERASE”を選びます。



3. 本体のEASY JOG/ENTERボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。確認メッセージが出てきます。

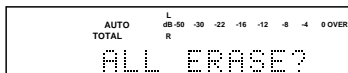
* 操作を取り消すときは、ボタンを押します。

4. 更にもう一度ENTERボタンを押すと、確定し“COMPLETE”と表示します。
曲が消え停止します。消した曲以降の曲番は自動的にかわります。

全ての曲を消す(オールイレース)

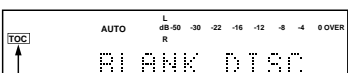
全ての曲を消します。(ディスク名、曲名も消えます。)

1. MDを停止状態にします。
2. EDITボタン押し、編集メニュー(26ページ参照)の“ALL ERASE”を選びます。
3. 本体のEASY JOG/ENTERボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。確認メッセージが出てきます。



* 操作を取り消すときは、ボタンを押します。

4. 更にもう一度ENTERボタンを押すと、確定し“COMPLETE”と表示します。

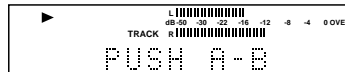


点灯

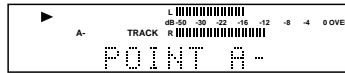
ブランクディスクになります。

指定した区間を消す(A - B イレース)

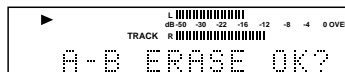
1. MDが再生状態のとき、A点(始点)で本体の▶/||またはリモコンの||ボタンを押して一時停止します。
2. EDITボタン押しして編集メニュー(26ページ参照)の“A-B ERASE”を選んだ後、ENTERボタンを押します。



3. リモコンのA-BボタンでA点(始点)とB点(終点)を決めます。



4. A点の前、約2.5秒間とB点の後約2.5秒間を繰り返し再生します。

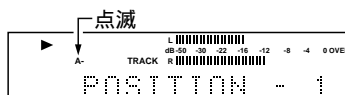


5. ENTERボタンを押すと“COMPLETE”と表示し完了します。その後、再生を続けます。
A-B イレースのA点、B点を変更する。

1. A-Bの前後を繰り返し再生しているときに、リモコンのA-Bボタンを押します。



2. EASY JOGを左方向に回してA点の値をかえます。戻す方向のみ可能です。



3. 本体のEASY JOG/ENTERボタンまたはリモコンのENTERボタンで確定し、次にB点の値をかえます。進む方向のみ可能です。



4. もう一度ENTERボタンを押すと、確定しA-Bの前後を繰り返し再生します。
5. 更に、もう一度ENTERボタンを押すと“COMPLETE”表示が出て再生を続けます。

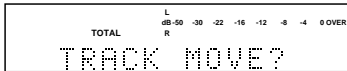
最後の編集を取り消す

(アンドゥ)

確定した最後の編集作業を編集前の状態に戻すことができます。ただし編集後に録音したり、ディスクを取り出したりすると、編集を戻すことはできません。

1. 編集作業が終わった後、停止状態にしてEDIT ボタンを押します。
2. 編集メニュー(26 ページ参照)の“UNDO”を選び、本体のEASY JOG/ENTER またはリモコンのENTER ボタンを押します。

(ムーブ作業をした後の場合)



3. 更にもう一度ENTER ボタンを押すと確定します。ムーブ作業が取り消されます。但し、MDのTOCが書き込まれた後、(スタンバイやデモモードへの移行、電源を切る、編集後の録音、ディスクの取り出しが行われた後)は編集を戻すことはできません。
- * ネーム入力の場合は、停止時のみアンドゥ機能が使えます。
 - * 一度MDのTOCが書き込まれた後は、編集を取り消すことはできません。

録音したMDを編集する (文字の編集)

ディスク名や曲名をつける前に

システム上の制約

MDディスクには、1つのディスク名と最大255曲の曲名をつけることができます。

ディスク名、曲名はそれぞれ約60文字まで入力できます。カタカナは約半分です。)

それを超えると“NAME FULL”と表示します。

一枚のMDディスクには、ディスク名、曲名合せて約1600文字が入力できます。(カタカナは約半分です。)それを超えると“TOC FULL”と表示します。

注意

本機以外で編集した、文字数の多いディスクを本機で編集すると文字が削除される可能性がありますのでご注意ください。

使える文字の種類

文字の種類	入力できる文字
アルファベット (大文字)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
アルファベット (小文字)	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
記号	[] < > ! ? # @ [] + = * / = % \$ & . , . " ' ` \ : ;
カタカナ	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム ヌ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラン
カタカナ (補助)	ア イ ウ エ オ ヤ ユ ヨ ヅ ヲ ヱ (スペース)

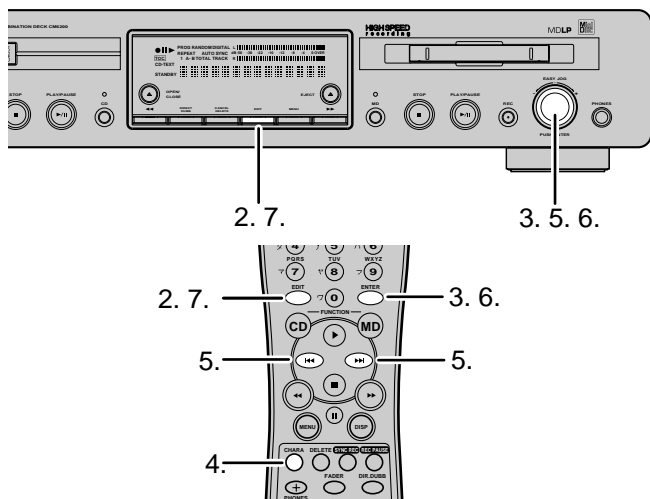
- * カタカナ(補助)の゛と゜は、前の文字によって選択できないことがあります。

ディスク名をつける

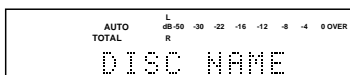
(ディスクネーム)

ディスク全体の名前を付けます

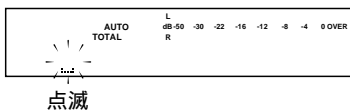
ディスク名は、MDを入れたとき、停止しているときに表示します。



1. MDを停止状態にします。
2. EDIT ボタンを押し、編集メニュー（26 ページ参照）の“DISC NAME”を選びます。

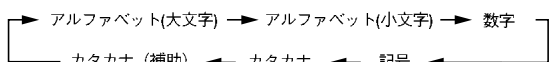


3. ENTER ボタンを押します。文字入力状態になります。

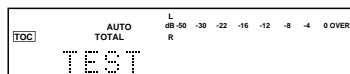


初期設定はアルファベット大文字です。

4. リモコンのCHARA ボタンを押すたびに文字の種類が変わります。



5. 本体のEASY JOGまたは、リモコンの◀▶ ボタンを押して文字を選びます。
6. ENTERボタンを押して選んだ文字を文字入力欄に入力します。以上を繰り返し、文字を入力していきます。(入力した文字の修正は32 ページを参照してください)
7. 文字を全て入力した後に、EDIT ボタンを押します。



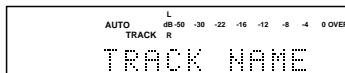
編集が完了します。

曲名をつける (トラックネーム)

曲ごとの名前を付けます。

曲名は、曲を選んだときや再生中に表示します。

1. 停止中に本体のEASY JOGまたは、リモコンの◀▶ ボタン、数字ボタン(0から9)で名前をつけたい曲を選びます。
2. EDIT ボタンを押し、編集メニュー（26 ページ参照）の“TRACK NAME”を選びます。



3. “ディスク名を付ける”と同様に行います

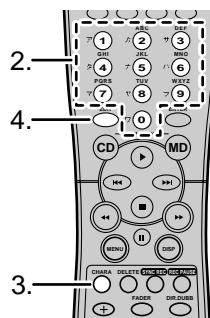
アドバイス

再生中、一時停止中、および録音中にEDIT ボタンを押しても文字入力ができます。また、再生中の文字入力は一曲リピート動作となります。

数字ボタンで入力する

(TELキー入力)

リモコンの数字ボタン(0から9)を入力することで、直接文字入力することができ、文字数が多いときの入力に便利です。



1. ディスク名または曲名を入力できる状態にします。
2. リモコンの数字ボタンを押すたびに、入力できる文字が順番に切りかわります。
3. カナ入力と英数字入力の切りかえは、リモコンのCHARA ボタンを押します。
4. 文字を全て入力した後、EDIT ボタンを押します。
5. 文字入力終了します。

アドバイス

本体のEASY JOGまたは、リモコンの◀▶ ボタンも併用することができます。

文字入力表

ボタン	カナ入力	英数字入力
1	アイウエオ	1
2	カキクケコ	ABCabc 2
3	サシスセソ	DEFdef 3
4	タチツテトッ	GHIghi 4
5	ナニヌネノ	JKLjkl 5
6	ハヒフヘホ	MNOmno 6
7	マミムメモ	PQRSpqrs 7
8	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv 8
9	ラリルレロ	WXYZwxyz 9
0	ワラン” ° _	0 _

_ : スペース

よく使う文字を登録する

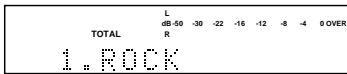
(ワードクリップ)

よく使うディスク名や曲名をあらかじめ登録することで、入力する手間を省くことができ便利です。

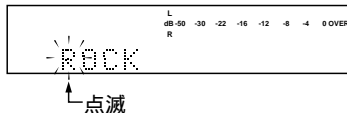
1タイトル当り32文字入力でき、全部で5タイトルまで登録できます。初期設定ですでにタイトルが登録されていますので、好きなタイトルに変更してお使いください。

登録する

1. 停止状態にします。
2. EDIT ボタンを押して編集メニュー（26 ページ参照）から“WORD CLIP”を選びます。
3. ENTER ボタンを押すと登録できる表示になります。EASY JOGまたは、◀◀、▶▶ ボタンで登録したいタイトルの番号を選びます。



4. もう一度 ENTER ボタンを押すと文字の入力が可能になります。



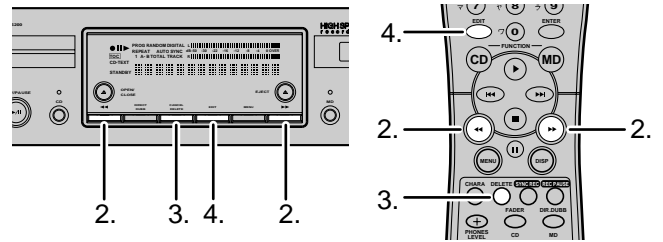
5. 入力が終わったら EDIT ボタンを押して確定します。
 - * ワードクリップで登録した内容は不揮発メモリー (EEPROM) に記録していますので、電源を切っても保持されます。
 - * 初期状態にするときは、35 ページをご覧ください。

登録したタイトルを使って入力する

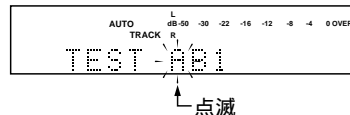
1. ディスク名や曲名を入力できるようにします。（31 ページ参照）
2. MENU ボタンを押すと、登録したタイトルが表示されます。
3. 本体の EASY JOG または、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを使って入力したいタイトルを選び、ENTER ボタンを押します。
4. タイトルが入力され、追加して文字を入力することができます。

入力した文字を修正する

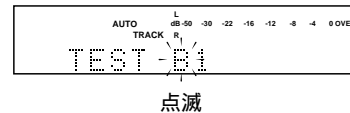
文字を消す



1. ディスク名または、曲名を入力できる状態にします。（31 ページ参照）
2. ◀◀、▶▶ ボタンを押して、消したい文字を点滅させます。

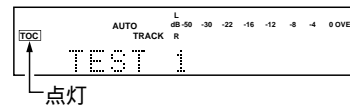


3. 本体の CANCEL/DELETE ボタンまたは、リモコンの DELETE ボタンを押します。消した文字以降の文字が詰まります。



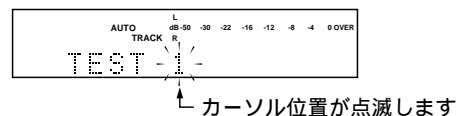
DELETE ボタンをさらに押すと次にカーソル位置の文字が消去されます。

- * 操作を取り消すときは、EDIT ボタンを押します。
4. EDIT ボタンを押すと、編集が終わります。

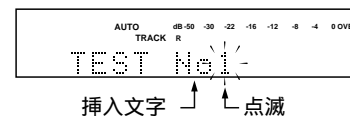


文字を挿入する

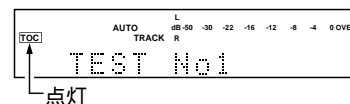
1. ディスク名または、曲名を入力できる状態にします。（31 ページ参照）
2. ◀◀、▶▶ ボタンを押して挿入したい位置の文字を点滅させます。



3. 本体の EASY JOG または、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンまたは数字ボタン（0 から 9）で挿入したい文字を選び、ENTER ボタンを押します。



4. EDIT ボタンを押すと編集が終わります。



便利な機能

タイマーを使って録音・再生する

タイマー機能をお使いになる前に、まず本機の電源コードを市販のオーディオタイマーに接続し、オーディオタイマーで本機の電源がオン/オフできるようにしてください。

タイマー録音する

市販のオーディオタイマー等を使って不在のときや深夜にチューナーからの放送等を録音することが出来ます。

1. 停止中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

*TIMER MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押してタイマーモード(以下の4モード)の種類を選択し、ENTER を押します。

TIMER:REC SP

標準タイマー録音

TIMER:REC LP2

LP2 長時間タイマー録音(標準の約2倍の録音時間)

TIMER:REC LP4

LP4 長時間タイマー録音(標準の約4倍の録音時間)

TIMER:REC MONO

モノラルタイマー録音(標準の約2倍の録音時間)

4. 設定した後、MENU ボタンを押して決定します。
5. 録音可能時間が十分にあるMDのディスクをセットし、本体の録音モード/タイマースイッチを“TIMER”にします。



5.

6. 録音のしかた(15ページ)を参照して、入力を選び録音レベルを調整します。
 7. 本機の電源ボタンをオンにした状態で、オーディオタイマーを用いて本機の電源をオフします。
 8. 設定された時間になると指定されたモードで録音を開始します。
- * メニューの操作は、録音メニュー(12ページ)を参照してください。
- * 実際に録音が始まるまで約10秒の時間がかかります。録音の頭切れを防止するために、タイマー設定は予定時間よりも10秒前に設定してください。

タイマー再生する

市販のオーディオタイマー等を使って、好きな時間にCDやMDを再生することが出来ます。

1. 停止中に MENU ボタンを押します。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

*TIMER MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押してタイマーモード(以下の2モード)の種類を選択し、ENTER を押します。

TIMER:PLAY CD

CDタイマー再生

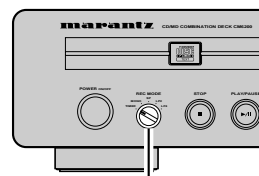
CDとMDがセットされている場合、最初にCDを演奏してからMDを演奏します。

TIMER:PLAY MD

MDタイマー再生

CDとMDがセットされている場合、最初にMDを演奏してからCDを演奏します。

4. 設定した後、MENU ボタンを押して決定します。
5. CDまたはMDのディスクをセットしてから本体の録音モード/タイマースイッチを“TIMER”にします。



5.

6. 本機の電源ボタンをオンにした状態で、オーディオタイマーを用いて本機の電源をオフします。
7. 設定された時間になると指定されたモードで再生を開始します。

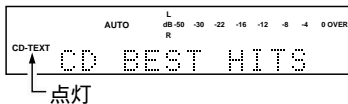
* メニューの操作は、録音メニュー(12ページ)を参照してください。

CD-TEXT の情報を表示する

CD-TEXT 対応の CD ディスクには、ディスク名や曲名が記録されています。

本機は CD-TEXT ディスクにも対応していますので、その内容を表示することができます

1. CD ディスクを本機にセットし、トレイを閉めます。
2. ディスク名が表示されます。



3. 再生すると、曲名を表示します。
- * CD-TEXT 対応のディスクでも種類によっては表示できない場合があります。
 - * CD トレイを何度か開閉しないと表示できない場合があります。

CD-TEXTの情報をMDに記録する

CD-TEXT 対応のディスクを MD にダビングしたとき、曲と一っしょに曲名も記録することができます。

1. CD と MD をセットしてダビングします。(17 ページ参照)
 2. 録音と同時にその曲名も MD に記録されます。
- * この機能は解除できません。文字を削除したいときは、ダビングした後、編集して文字を削除して下さい。
 - * ディスク名は記録できません。

モニター機能

本機を AD コンバーター、DA コンバーターとして使用することができます。

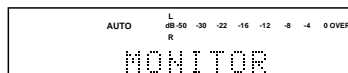
- 例 1: アナログ (ライン) 入力を光デジタル出力に変換する。
例 2: デジタル (光) 入力をアナログ (ライン) 出力に変換する。

1. 本機の入出力端子にそれぞれ正しく接続し(8 ページ参照)電源を入れます。
2. 本機に MD ディスクが入っている場合は取り出します。
3. リモコンの INPUT SELECT ボタンを押してモニターする入力を選びます。

アドバイス

内部 CD をモニターする場合は、MD ディスクを入れ、録音待機状態(16 ページ参照)にしてください。

4. ボタンを押すと、各出力端子からモニター信号が出力します。



5. 解除するときは ボタンを押します。

注意

正しく接続されていない場合、または接続する機器に電源が入っていない場合は“DIN UNLOCK”と表示してモニターすることはできません。

その他

サスペンドモード(デモモード、オートスタンバイ)の設定

本機の停止状態が指定した時間を経過すると、自動的にデモモードまたはスタンバイになります。また、この機能をオフすることもできます。

1. 停止状態から MENU ボタンを長押しします。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

*SUSPEND MODE

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

SUSPEND: DEMO

を選んで ENTER ボタンを押すとデモンストレーションモードになります。

停止状態が指定した時間経過すると、自動的にデモンストレーション表示になります。

SUSPEND: STBY

を選んで ENTER ボタンを押すとオートスタンバイモードになります。

停止状態が指定した時間経過すると、自動的にスタンバイになります。

SUSPEND: OFF

を選んで ENTER ボタンを押すとサスペンドモードがオフになります。

サスペンドモードを選び ENTER ボタンを押したとき、

COMPLETE

が表示され、モードは確定されます。

サスペンドタイムの設定

デモモードまたはオートスタンバイになるまでの時間を設定します。

1. 停止状態から MENU ボタンを長押しします。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押して

*SUSPEND TIME

を選んで ENTER ボタンを押します。

3. EASY JOG またはリモコンの ◀▶ ボタンを押してサスペンド時間を設定します。

設定できる範囲は 5 分から 120 分までです。(設定時間は 5 分間隔です。)

TIME: 30 MIN

設定した後、ENTER ボタンを押すと、

COMPLETE

が表示され設定時間は確定されます。

ラストメモリー

本機は不揮発メモリー "EEPROM" を搭載していますので、電源を切っても以下の内容は保持されます。

記憶できる項目

1. 録音メニュー設定 (12 ページ参照)
2. ワードクリップの内容

初期設定にする

本機を初期の出荷状態にすることができます。

1. 停止状態から MENU ボタンを長押しします。
2. メニュー表示の中から EASY JOG またはリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押して " * ALL RESET " を選び、ENTER ボタンを押します。
3. 表示は " ALL RESET? " となります。
4. もう一度 ENTER ボタンを押すと確定し、" COMPLETE " と表示します。

初期設定の内容

- | | | |
|------------------|---|----------|
| 1. デジタル録音レベル | : 0dB | (16 ページ) |
| 2. アナログ録音レベル | : 0dB | (16 ページ) |
| 3. CD ダビングモード | : ノーマル | (17 ページ) |
| 4. オートフェーダー | : オフ | (19 ページ) |
| 5. フェードイン時間 | : 5 秒 | (24 ページ) |
| 6. フェードアウト時間 | : 5 秒 | (24 ページ) |
| 7. オートマーカー | : オン | (25 ページ) |
| 8. ビットアロケーションモード | : 1 | (23 ページ) |
| 9. オートLPスタンプ | : オン | (23 ページ) |
| 10. リカバリー録音 | : オフ | (23 ページ) |
| 11. タイマーモード | : SP 録音 | (33 ページ) |
| 12. サスペンドモード | : デモモード | (34 ページ) |
| 13. サスペンドタイム | : 30 分 | (34 ページ) |
| 14. ワードクリップ | : (1)ROCK (2)J-POP (3)My Best
(4)SINGLE (5)ALBUM | |

使用上のご注意

お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤をうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

設置について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスがくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。本機は、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。

- 暖房開始直後の部屋
- 湿気が多い部屋
- 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

このような場合は、曲数の読み込みができず、本機が誤動作することがありますので30分位待ってから使用してください。本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビと本機の距離を離して設置してください。

MDは、アナログ式レコードにくらべ非常にノイズが少なく、演奏が始まるまでノイズはほとんど聞き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。

乾電池の取扱い方

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険がありますので、次の点について特にご注意ください。

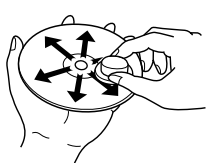
乾電池のプラスとマイナスの向きを機器の表示通り正しく入れてください。

新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますから、種類の違う乾電池といっしょに使用しないでください。乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。

CDの取り扱いについて

- * ディスクの表面はきれいに再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向に軽くふき取ってください。



放射状方向に
ふいてください。

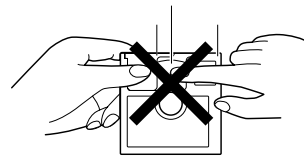


円周方向には、
ふかないでください。

従来のアナログディスク用のクリーナーを使用すると、コンパクトディスク表面に悪影響を与えますので使用しないでください。

- * ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのレーベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- * 特殊な形のディスクは使用しないでください。ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

MDカートリッジ使用上の注意

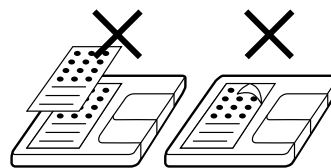


- * シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
- * シャッターを無理に開けないでください、MDカートリッジが壊れます。

MDカートリッジにラベルを張り付けるときの注意

MDカートリッジにラベルを貼るときは、必ず下記のことをお守りください。

正しく張り付けないと、MDが本機の内部につまんで、取り出せなくなることがあります。



注意

- * ラベルは指定の場所（ラベル張り付け位置）に正しく貼ってください。
- * 張り付けたラベルの上から、重ねてラベルを貼らないでください。
- * ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼りかえて使用してください。

CDやMDの保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- * 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車等）
- * 温度の高い所や湿度の高い所。
- * 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海岸や砂地等）

長時間電源を切るときは

録音や編集したあと、TOCを記録しない状態で電源を切り、約1週間が過ぎると、TOCが記録できなくなり、ディスクの内容が消えてしまいます。

録音や編集したあとは、TOCを記録した後で、電源を切るようにしてください。

こんな表示がでたときは

表示	意味	このようにしてください
MD NO DISC CD NO DISC	CDまたはMDが入っていない。 CDまたはMDのデータが読めない。	CDまたはMDを入れる。 CDやMDをもう一度入れ直す。
DISC FULL	MDに録音できる空きがない。	他の録音用MDと取りかえる。
BLANK DISC	何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。)	再生するときは録音されたMDと取りかえる、または録音する。
0 0:00	音楽が録音されていない。	録音されたMDと取りかえる。
PLAY ONLY	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用MDと取りかえる。
PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
TOC FULL	曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。	他の録音用MDと取りかえる。
Can't REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	録音をやり直すか、MDをかえてみる。
Can't EDIT	編集できない。 実行できないEDITを操作した。	曲の停止位置をかえて、編集し直す。 実行可能なEDITを操作をしてください。
NAME FULL	ディスク名/曲名が60文字をこえている。	ディスク名/曲名を短くする。
Can't COPY	コピー禁止のものから録音しようとした。	コピー可能なもの(一般のCDなど)にかえる。
DISC ERROR	オーディオ用でないデータが記録されている。 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないなかったり、読めない。	他のMDと取りかえる。 オールイースをし、録音をやり直す。
WRITE ERROR	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 (書き込み中はショックを与えないでください。)
DIN UNLOCK	デジタル入力の時、正常な信号が入力されない。	デジタル入力端子に正しく接続されているか確認する。 デジタル入力以外で録音するときは、アナログ入力にする。
ERROR	操作方法が正しくない。	もう一度取扱説明書をご覧になり操作をやりなおす。
SPEC	オーディオ用でないデータが記録されている。	他の曲を選ぶ。 ディスクを取り換えてください。
ENTRY FULL	プログラムのステップ数が合計30曲を越えている。	合計30曲を越えないようにプログラムし直してください。

MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。

こんなとき	このような制約があります
MDの最大録音時間に満たなくても“TOC FULL”が表示されることがある。	MDシステムでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すことがある。 曲数が最大(255曲)にならなくても、TOCの情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イリース機能を行なえば最初から使用できます。)またディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可能となるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。 MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。 通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンパイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音がとぎれることがあります。

■ 故障とお考えになる前に

故障かな?と思ったらちょっとチェックしてみてください。
意外な操作ミスが故障とされていることがあります。
下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げ
になった販売店、当社営業所、または当社サービスセンターにご
相談ください。

リモコン操作ができない

1. リモコン送信機(RC-6000CM)の送信窓が、本体の受光窓に正しく向けられていますか。また、この間に何か障害物はありますか。
2. リモコン送信機(RC-6000CM)の電池が消耗していませんか。
3. 本体の受光窓に他の強い光が当たっていませんか。

動作しない

1. 電源コードは正しく接続されていますか。
2. POWER スイッチはONになっていますか。
3. ポーズボタンは押されていませんか。

MDは動作するが音が出ない

1. MDは録音されていますか。
2. アンプ、スピーカーの接続は正しいですか。
3. アンプのボリュームが最小になっていませんか。

録音できない

1. MDは入っていますか。
2. MDの側面についている誤消去防止ツマミが開いていませんか。
3. 録音レベルが"MIN"になっていませんか。
4. CD-RやCD-RWで一度デジタル録音したディスクからMDに録音しようとしていませんか。

音が歪んでいる

1. 録音レベルが高すぎませんか。

音に雑音が入っている

1. 接続コードの接続は間違っていないですか。
2. 磁気を発生するもの(テレビ、モーター、トランスなど)が近くにありませんか。
3. 本機をアンプと重ねて使用する場合、接続機種によってハム(ブーンという音)を拾うことがあります。その時は影響を受けない位置を選んでご使用ください。またテレビのそばで使用する時も同様です。
4. 電源コードプラグを逆にして、電源コンセント(AC100V)に差し込んでみてください。

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
正常なご使用状態で、この期間内に万一故障した場合には、お買い上げ販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所にご遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障とお考えになる前に」をご参照の上よくお調べください。

ご連絡いただきたい内容

- 1) 品名 CD/MD Combination Deck
- 2) 品番 CM6200
- 3) お買い上げ日 年 月 日
- 4) 故障の状況(できるだけ具体的に)
- 5) ご住所(付近の目印等も併せてお知らせください)
- 6) お名前
- 7) 電話番号

■ ステレオ音のエチケット

楽しい音楽もときと場所によっては気になるものです。
隣近所へ十分配慮(おもいやり)をしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



仕 様

オーディオ特性

チャンネル (SP、LP2、LP4).....	ステレオ 2チャンネル
モノラル (MONO).....	1チャンネル
周波数特性	20 ~ 20,000 Hz
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
ダイナミックレンジ	95 dB 以上
S/N比	96 dB 以上
チャンネルセパレーション	95 dB 以上 (1,000 Hz)
全高調波歪率	0.004 %以下 (1,000 Hz)
ワウフラッター	水晶精度
最大録音時間 (80分ディスク使用時)	
SP	80分
LP2、MONO	160分
LP4	320分
音声出力	2 V RMS ステレオ
音声入力感度	500 mV RMS ステレオ
光デジタル出力 (角型光コネクタ).....	- 19 dBm
光デジタル入力 (角型光コネクタ).....	- 19 dBm

光学読み取り方式

レーザー	AlGaAs 半導体
波 長	780 nm
サンプリング周波数	44.1 kHz
(32 kHz、48 kHz 入力時は 44.1 kHz に変換)	

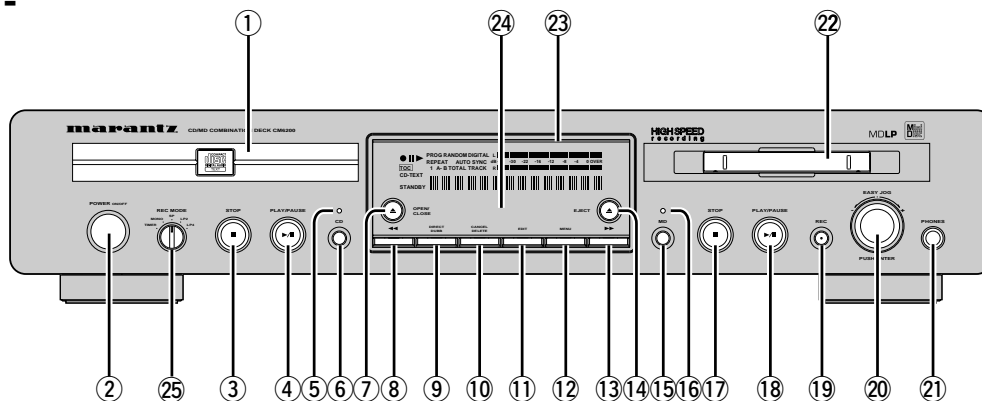
電 源100 VAC, 50/60 Hz

消費電力	14 W
最大外形寸法	440 (幅) x 86 (高さ) x 316 (奥行き) mm
質量	4.7 kg
許容動作温度	+ 5 ~ + 35
許容動作湿度	5 ~ 90 % (結露のないこと)

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各部の名称と使い方

- 本体前面 -



① CDトレイ

CDを入れるところでCDオープン/クローズボタンを押してトレイを開きCDをのせます。

② POWER (電源) ボタン

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

③ (CDストップ) ボタン

CDの演奏を停止するとき、または各操作を解除するときに押します。

④ ▶/|| (CDプレイ/ポーズ) ボタン

CDの演奏を開始するときに使用します。演奏中に押すと一時停止になります。

⑤ CD選択インジケータ

CDが選択されているときに点灯します。

⑥ CD選択ボタン

CDを選択するときに押します。
CDを選択するとボタンの上のインジケータが点灯します。

⑦ ▲(CDオープン/クローズ)ボタン

CDトレイを開け閉めするときに押します。

⑧ ◀◀ (早戻し) ボタン

CDやMDの演奏中に押すと、押している間早戻しします。

⑨ DIRECT DUBB(ダイレクトダビング)ボタン

CDからMDにダビングするときに押します。

⑩ CANCEL/DELETE (キャンセル/デリート) ボタン

MDの文字編集時および文字を削除するときに押します。

⑪ EDIT (エディット) ボタン

MDの編集モードを選ぶときに押します。

⑫ MENU(メニュー)ボタン

録音の各種設定をするときに押します。

⑬ ▶▶ (早送り) ボタン

CDやMDの演奏中に押すと、押している間早送りします。

⑭ ▲ (MDイジェクト) ボタン

MDを取り出すときに押します。

⑮ MD選択ボタン

MDを選択するときに押します。
MDを選択するとボタンの上のインジケータが点灯します。

⑯ MD選択インジケータ

MDが選択されているときに点灯します。

⑰ (MDストップ) ボタン

MDの演奏を停止するとき、または各操作を解除するときに押します。

⑱ ▶/|| (MDプレイ/ポーズ) ボタン

MDの演奏を開始するときに使用します。演奏中に押すと一時停止になります。

⑲ (録音ポーズ) ボタン

録音待機状態にするときに押します。

⑳ EASY JOG/ENTER (イージー jog/エンター) ボタン

左右に回してCDやMD再生時のスキップ、メニューモードの切替え、入力する文字の選択、数字の選択ができます。押すとエンターボタンとなり文字や数字、メニューモードを確定します。

㉑ PHONES (ヘッドホン出力端子)

ヘッドホンを接続します。

㉒ MDホルダー

MDを入れるところです。

㉓ ディスプレイ(表示)

本機の動作状態を表示します。
(詳しくは42ページを参照してください。)

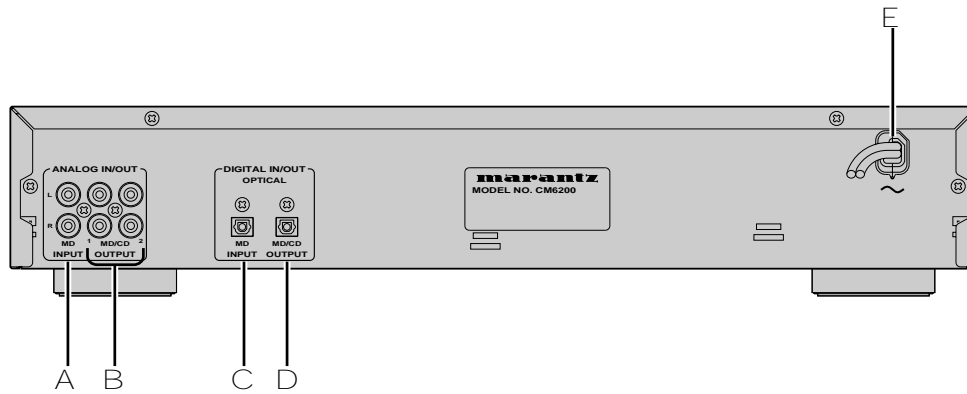
㉔ リモコンセンサー (赤外線受光窓)

リモコン信号を受信するところです。
ここにリモコン送信機を向けて操作してください。

㉕ 録音モード/タイマースイッチ

録音モード (SP、LP2、LP4、MONO) の種類またはタイマーの設定をします。

- 本体後面 -



A ANALOG LINE IN (MD) (アナログライン入力) 端子

MDに録音するためのアナログ信号入力端子です。
アンプのTAPE OUT 端子とつなぎます。白のジャックはL端子に、赤のジャックはR端子に、それぞれ正しくつないでください。

B ANALOG LINE OUT (CD/MD) (アナログライン出力) 端子

CD/MDのアナログ信号の出力端子です。CDまたはMDの選択された信号が出力されます。1、2の2系統あります。(それぞれ同じ信号が出力されます。)
アンプのTAPE IN 端子、またはAUX 端子とつなぎます。
アンプのPHONO 端子にはつながないでください。

C DIGITAL OPTICAL IN (光デジタル入力) 端子

光デジタル出力端子を持った機器と接続します。
(8ページ参照)

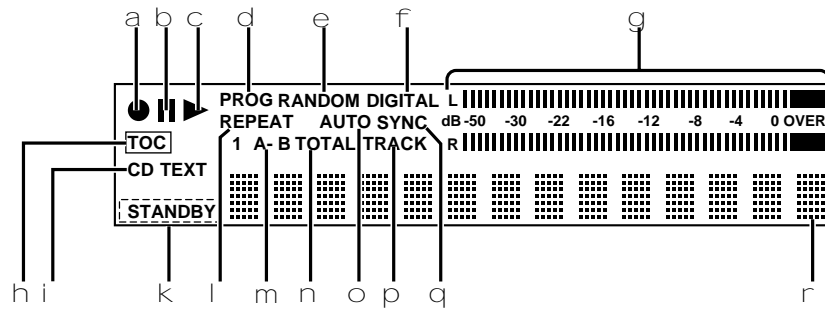
D DIGITAL OPTICAL OUT (光デジタル出力) 端子

光デジタル入力端子を持った機器と接続します。
(8ページ参照)

E 電源コード

ご家庭の電源コンセントに接続します。
各端子の接続については、8ページの接続方法を参照してください。

- ディスプレイ -



a (録音)

録音動作中に点灯します。

b || (ポーズ)

再生や録音を一時停止したときに点灯します。

c ▶ (プレイ)

再生中、録音中に点灯します。

d PROG (プログラム)

プログラムモード時に点灯します。

e RANDOM (ランダム)

ランダム再生中に点灯します。

f DIGITAL (デジタル)

通常は点灯状態ですが、アナログ録音をしているときに消えます。

g レベルメーター

音声のレベルメーターです

h TOC

TOC情報(ディスクの内容)を保持しているときに点灯します。
記録するときには点滅します。

TOC: Table Of Contents(ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報)

i CD TEXT (CD テキスト)

CD-TEXT対応のCDディスクのTEXT情報を読み込んだときに点灯します。

k STANDBY (スタンバイ)

スタンバイのとき点灯します。

l リピート

リピート動作中に点灯します。通常は全曲リピート、1の数字と同時に点灯すると1曲リピートです。

m A-B リピート、A-B イレース

1曲の指定した部分を繰り返し再生するときに点灯します。
MDの1曲の指定した部分を削除するときに点灯します。

n TOTAL (トータル)

合計時間を表示するとき点灯します。

o AUTO (オートマーカー)

ひと続きの曲で録音するときに表示は消えます

p TRACK (トラック)

曲番を表示するとき点灯します。

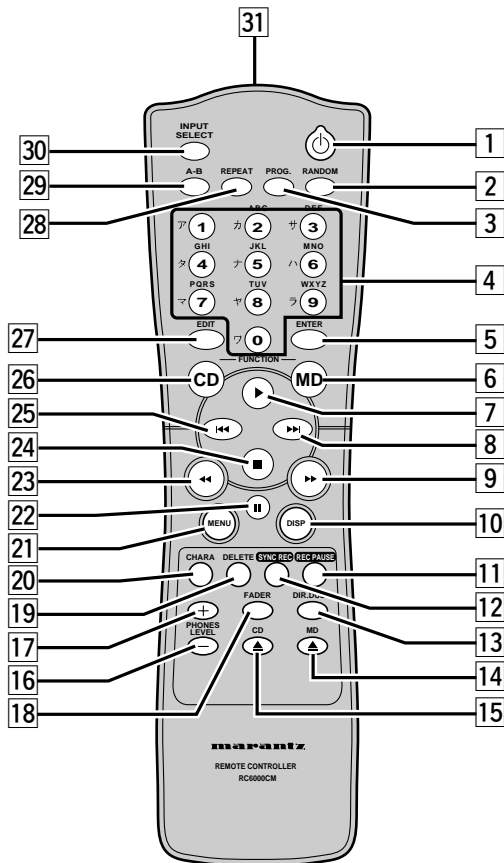
q SYNC (シンクロ録音)

自動録音機能がオンのとき点灯します

r ディスクインジケータ

本機の動作状態、時間情報、CDやMDのタイトル等をアルファベットやカタカナで表示します。

- リモコン送信部 -



1 スタンバイボタン

ボタンを押すとオンになり、もう一度押すとスタンバイになります。

2 RANDOM (ランダム) ボタン

曲順をランダム(順不同)に再生するときに押します。

3 PROG (プログラム)

セットしたディスクの中から、好きな曲だけを選んで、再生するときに押します。

4 数字 (0 から 9) ボタン

曲番号等、数字の入力に使用します。

5 ENTER (エンター) ボタン

MDの編集モード、ダビングモード、入力文字等の各種設定を決定するときに押します。

6 MD ボタン

リモコンのモードを MD に切り換えます。

MDの操作をする前に押してください。

一度押すとCDボタンを押さない限りモードはMDのままとなります。

7 ▶ (プレイ) ボタン

CDまたはMDの再生を開始するときに押します。

8 ▶▶ (スキップ) ボタン

再生中に押すと、押した回数だけ前にスキップし、自動的に再生を開始します。

9 ▶▶▶ (早送り) ボタン

再生中に押すと、押している間早送りします。

10 DISP (ディスプレイ) ボタン

CDやMDの時間情報やディスクネーム等の表示を切り換えるときに押します。

11 REC PAUSE(録音ポーズ) ボタン

録音ポーズ状態にするときに押します。

12 SYNC REC (シンクレック) ボタン

自動的に録音を開始するときに押します。

13 DIR DUBB(ダイレクトダビング) ボタン

CDからMDにダビングするときに押します。

14 ▲ (MD イジェクト) ボタン

MDディスクを取り出すときに押します。

15 ▲ (CD トレイオープン/クローズ) ボタン

CDトレイを開閉するときに押します。

16 PHONES LEVEL - (ヘッドフォンレベル-) ボタン

ヘッドフォンの音量およびアナログライン出力の音量を下げるときに押します。

* ヘッドフォンとアナログライン出力の音量は同時に変化します。

* ヘッドフォンの音量は電源を切るたびに初期設定に戻ります。

17 PHONES LEVEL + (ヘッドフォンレベル+) ボタン

ヘッドフォンの音量およびアナログライン出力の音量を上げるときに押します。

* ヘッドフォンとアナログライン出力の音量は同時に変化します。

* ヘッドフォンの音量は電源を切るたびに初期設定に戻ります。

18 FADER(フェーダー) ボタン

フェードイン、フェードアウト機能を使って録音するときに押します。

19 DELETE (デリート) ボタン

文字の消去、プログラムした曲の削除等を行なうときに押します。

20 CHARA(キャラクター) ボタン

文字の種類を変えるときに押します。

21 MENU(メニュー)ボタン

録音の各種設定をするときに押します。

22 || (ポーズ) ボタン

演奏中に押すと一時停止になります。もう一度押すと再び演奏を開始します。

23 ◀◀ (早戻し) ボタン

再生中に押すと、押している間早戻しします。

24 (ストップ) ボタン

再生や録音を停止するときに押します。

25 ◀◀ (スキップ) ボタン

再生中に押すと、押した回数だけ後ろにスキップし、自動的に再生を開始します。

再生中は最初の一回目で現在の曲を再生します。

26 CD ボタン

リモコンのモードをCDに切り換えます。CDの操作をする前に押してください。

一度押すとMDボタンを押さない限りモードはCDのままとなります。

27 EDIT(エディット) ボタン

MDの編集モードを選ぶときに押します。

28 REPEAT (リピート) ボタン

全曲リピート、一曲リピート、プログラムリピート演奏をするときに押します。

29 A-B (A-B リピート) ボタン

ディスクの指定した部分を繰り返し再生するときに押します。
MDディスクの指定した部分を消すときに押します。

30 INPUT SELECT(インプットセレクト)ボタン

MDに録音する入力を切り換えるときに押します。

* CDを再生したり、ダビングするときには自動的に“CD DUBBING”に切り替わります。

31 リモコン送信部

ここからリモコンの信号が送信されます。

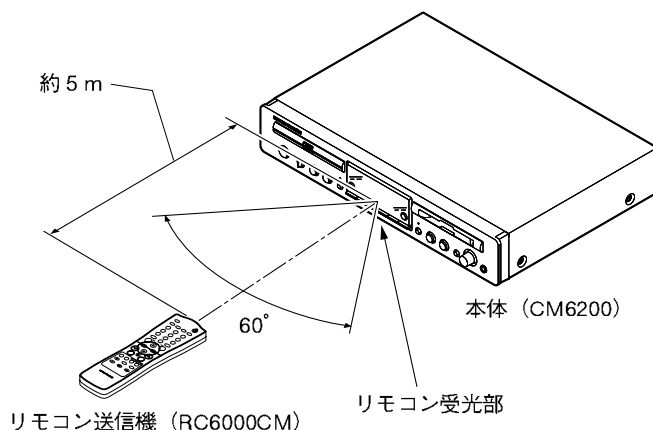
本体のリモコンセンサー部に向けてリモコンを操作してください。

リモコンの使用について

リモコンと本体の操作距離は約5m以内でご使用ください。リモコンをリモコン受光部と違う方向に向けたり、リモコンと受光部の間に障害物があると、操作できなくなることがありますのでご注意ください。

また、リモコン受光部に強い光が当たっても同様になることがあります。

リモコンの使用できる範囲



著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。音楽の歌詞、楽曲などは著作権法によって保護されていますが、放送やCD、レコード、その他の録音物（カラオケテープ・ミュージックテープなど）も同じように著作権法により保護されています。従って、それから録音したものを

- 売ったり、配ったり、あるいは譲ったり、貸したりすること
- 営利（店のBGMなど）のために使用すること

は、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部、もしくはもよりの支部におたずねください。

日本音楽著作権協会

本部	〒151-8540 東京都渋谷区上原 3-6-12 TEL (03)3481-2121(大代表) FAX (03)3481-2150
北海道支部	(業務地域 北海道) 〒060-0001 札幌市中央区北一条西3-2 井門札幌ビル TEL (011)221-5088(代表) FAX (011)221-1311
盛岡支部	(業務地域 岩手・青森・秋田) 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル TEL (019)652-3201(代表) FAX (019)652-4010
仙台支部	(業務地域 宮城・山形・福島) 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-6 三井住友銀行仙台ビル TEL (022)264-2266(代表) FAX (022)265-2706
長野支部	(業務地域 長野) 〒380-0823 長野市南千歳2-12-1 アクサ長野ビル TEL (026)225-7111(代表) FAX (026)223-4767
大宮支部	(業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟) 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル TEL (048)643-5461(代表) FAX (048)643-3567
上野支部	(業務地域 台東・文京・荒川・葛飾・足立・北各区・茨城) 〒110-0005 台東区上野2-7-13 JTB損保ジャパン上野共同ビル TEL (03)3832-1033(代表) FAX (03)3832-1040
東京支部	(業務地域 千代田・中央・港・墨田・江東・品川・大田・江戸川各区・島しょ部・千葉) 〒104-0061 中央区銀座1-3-9 実業之日本社銀座ビル TEL (03)3562-4455(代表) FAX (03)3562-4457
西東京支部	(業務地域 新宿・目黒・世田谷・渋谷・中野・杉並・豊島・板橋・練馬区) 〒160-0023 新宿区西新宿1-17-1 日本生命新宿西口ビル TEL (03)5321-9530(代表) FAX (03)3345-5750
東京イベント・コンサート(EC)支部	(業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨) *コンサートや、イベント等における演奏・上映等 〒160-0023 新宿区西新宿1-17-1 日本生命新宿西口ビル TEL (03)5321-9881(代表) FAX (03)3345-5760
立川支部	(業務地域 東京都市部、郡部(島しょ部を除く)・山梨) 〒190-0012 立川市曙町2-37-7 コアシティ立川 TEL (042)529-1500(代表) FAX (042)529-1515
横浜支部	(業務地域 神奈川) 〒231-0005 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル TEL (045)662-6551(代表) FAX (045)662-6548
静岡支部	(業務地域 静岡) 〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル TEL (054)254-2621(代表) FAX (054)254-0285
中部支部	(業務地域 愛知・岐阜・三重) 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30名古屋三井ビル本館 TEL (052)583-7590(代表) FAX (052)583-7594
北陸支部	(業務地域 石川・富山・福井) 〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファール TEL (076)221-3602(代表) FAX (076)221-6109
京都支部	(業務地域 京都・滋賀・奈良) 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル TEL (075)251-0134(代表) FAX (075)251-0414
大阪支部	(業務地域 大阪・和歌山) 〒542-0081 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル TEL (06)6244-0351(代表) FAX (06)6244-1970
神戸支部	(業務地域 兵庫) 〒650-0024 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII TEL (078)322-0561(代表) FAX (078)322-0975

中国支部	(業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根) 〒730-0021 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル TEL (082)249-6362(代表) FAX (082)246-4396
四国支部	(業務地域 香川・徳島・高知・愛媛) 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー TEL (087)821-9191(代表) FAX (087)822-5083
九州支部	(業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本) 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル TEL (092)441-2285(代表) FAX (092)441-4218
鹿児島支部	(業務地域 鹿児島・宮崎) 〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル TEL (099)224-6211(代表) FAX (099)224-6106
那覇支部	(業務地域 沖縄) 〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル TEL (098)863-1228(代表) FAX (098)866-5074

marantz®

お客様ご相談センター

〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー13F

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

修理に関しましては 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー13F

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

<http://www.marantz.jp>

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。